

# 景観シート 多可町

	景観シートタイトル	景観シートに含まれる 景観資源	所在地
1	杉原谷、杉原川(スギ林の谷間を流れる清流)		加美区
2	岩座神の棚田(斜面に連なる石積みと棚田)	岩座神地区、岩座神棚田の里づくり委員会	加美区岩座神
3	岩座神、五霊神社のホソバタブ(鎮守の森に守られた巨木)		加美区岩座神
4	クラインガルテン岩座神(棚田の中の滞在型市民農園)		加美区岩座神 251-1
5	神光寺(集落の奥にひっそりとたたずむ山寺)		加美区岩座神
6	松か井の水(室町時代から親しまれた名水)		加美区奥荒田
7	金蔵寺(標高400mの山中に建つ寺院)		加美区的場
8	荒田神社(播磨国二宮として崇敬を集める式内社)		加美区的場145-1
9	義民夏梅太郎右衛門の碑(地域の歴史を伝える場)		加美区熊野部
10	青玉神社(杉の巨木に囲まれた境内)	夫婦大杉、乳の木(銀杏の大木)、湯立て祭り	加美区鳥羽 735
11	杉原紙と楮の川さらし(1300年以上の歴史を誇る伝統の和紙)	杉原紙研究所	加美区鳥羽
12	三国岳(播磨、但馬、丹波の境にそびえる山)		加美区鳥羽、山寄上
13	竜ヶ岳(雨乞信仰と関わりのある山)		加美区鳥羽、清水
14	雲門寺庭園(日本建築の粋を集めた大伽藍と庭園)		加美区清水 213
15	雄滝・雌滝(千ヶ峰登山道の景勝地)		加美区三谷
16	ハーモニーパーク(四季の果実が実る農林業公園)		加美区三谷 663-1
17	千ヶ峰(播磨地方の最高峰、360度のパノラマ)		加美区三谷
18	ラベンダーパーク多可(ラベンダーに親しむ交流施設)		加美区轟799-127
19	西山・轟の棚田(オーナー制度を通じた棚田の再生)		加美区轟、西山
20	日光寺(文殊さんとして親しまれる寺院)		加美区丹治
21	凍りこんにゃく(地域の伝統的な郷土食)		加美区丹治
22	桜公園(200本のソメイヨシノが咲き誇る桜の名所)		加美区丹治
23	大袋の梅花藻(清流の可憐な花)		加美区大袋
24	箸荷むらづくり委員会(住民協定による景観づくり)		加美区箸荷
25	大歳神社(五穀豊穡、諸業繁栄を願う百々手(ももて)祭り)		加美区箸荷
26	奥豊部古墳(山麓部に築造された古墳群)		加美区奥豊部
27	大歳金刀比羅神社(播磨を代表する祭礼)	加都良神社	中区鍛冶屋、間子
28	逆池のジュンサイまつり(懐かしい風景を残す池)		中区曾我井
29	円満寺(「乳の木」として知られるイチョウの大木)		中区西安田
30	善光寺の大イブキ(地域に残る古木)		中区東安田713
31	武嶋山(磨崖仏が彫られた岩山)		中区東安田
32	いぶきの森(里山林の中の自然公園)		中区東安田
33	徳畑天神社(樹齢数百年の杉に囲まれた神社)		中区徳畑471-1
34	中村町むらづくり協議会(あかね坂公園の維持管理)		中区中村町
35	観音寺と観音の森(四季折々に変化する里山の彩り)		中区奥中
36	あまんじゃこの長石と足跡(播磨国風土記に語られる伝承)		中区奥中
37	産坂(懐かしいふるさと風景)		中区坂本
38	鳳泉寺(印象的な庭の泉水)		中区坂本 380
39	県立なか・やちよの森公園(四季を通じて自然を楽しむ里山)		中区靴屋 677-10
40	翠明湖(雄大なダム湖と四季折々の変化が美しい山々)		中区靴屋、安坂、茂利、徳畑
41	彼岸花の里(田園風景に映える3色の彼岸花)		中区間子
42	播州歌舞伎保存会(最後の地歌舞伎一座)		中区鍛冶屋
43	鍛冶屋線記念館(暮らしを支え親しまれた旧駅舎)		中区鍛冶屋
44	健康福祉センター“アスパル”(地域の新しい拠点づくり)		中区岸上 281-51

45	虫送り(豊作を願う伝統行事)		中区天田、奥中
46	量興寺(多可郡の中心地であった多哥寺跡)		中区天田
47	加都良神社(伝統芸能「鶏合わせ」の継承)		中区天田 159-1
48	東山古墳群(16基で構成される豪族の墓)		中区東山
49	牧野大池(手作業で造られたため池)		中区牧野
50	八幡神社(伝統の祭事「剣の舞」「湯立て神楽」)		中区牧野 606
51	妙見山(眼下に望む故郷の原風景)		中区牧野
52	北播磨余暇村公園(四季の彩りが美しい公園と鉱山)	銅精錬所跡展示館	中区牧野 817-41
53	西谷公園と大石内蔵助良雄の石垣(江戸時代に築かれた池堤跡)		八千代区大和
54	楊柳寺と八千代昔の森(信仰の対象として守られてきた自然林)	柳山寺愛宕山神社	八千代区大和 774
55	ブルーメンやまと(田舎暮らしが楽しめる滞在型市民農園)		八千代区大和1483
56	なごみの里 山都(歴史文化を体験できる交流施設)		八千代区大和1520-1
57	フロイデン八千代(ヨーロッパの山岳地帯のようなクラインガルテン)		八千代区俵田 414
58	ほたるの宿路(ほたるが乱舞する遊歩道)		八千代区俵田
59	野間山城跡(「鶴琳城」と呼ばれる戦国時代の山城跡)		八千代区俵田
60	竹谷山溪谷(溪流沿いに連なる滝が美しい公園)		八千代区俵田
61	下三原貴船神社(五穀豊穡を願う伝統行事「雨散散」)		八千代区下三原390
62	中野間貴船神社(伝統の馬駆けと屋台の練り)		八千代区中野間1135
63	光竜寺山城跡(トンナ山山頂に構える山城跡)		八千代区中野間
64	安海寺(貴重な文化財を多く残す寺院)		八千代区中村220
65	中村貴船神社(伝統的な祭礼「龍王の舞い」「方固め」「田楽」)		八千代区中村 207
66	坂本の化椿(人々に親しまれたヤブツバキの巨木)		八千代区坂本
67	笠形山(播磨富士と呼ばれる修験の山)		八千代区大屋
68	大幹線林道(四季の自然と変化に富んだ地形が満喫できる山道)	笠形山登山口、二重ヶ滝	八千代区大屋
69	鹿子神社と大屋公民館(紅葉の美しい歴史文化拠点)		八千代区大屋 626
70	浄善法師の墓(難病を治すと信仰を集める祠)	地藏尊祠、笠が谷橋、中の谷橋	八千代区大屋
71	ブライベンオオヤ(雄大で豊かな自然に囲まれた滞在型市民農園)		八千代区大屋 359 他

## 杉原谷、杉原川（スギ林の谷間を流れる清流）



杉原谷を流れる杉原川



梅花藻（ばいかも）



ホタルの乱舞



杉原の谷は山頂から大きな放物線を描いて一気に下りてくる緑の斜面の単純さが美しい景観を構成しているため、北の播州峠側、南の中区側、どちらから入っても素晴らしい稀有な景観を呈している。

山の恵みをたたえた杉原川は、下水排水の整備、住民の活動などにより「昔の川・清流」を取り戻している。6月には杉原川沿いや谷川でホタルの乱舞を見ることができる。また、別名ウメバチモと呼ばれ、澄み切った川などに生えるといわれる、梅花藻（ばいかも）がたくさん自生するようになった。夏になると杉原川や水路などに白い可憐な花が水面に咲き、ゆらゆらと身をまかせている。

また、多可町は、奈良時代から和紙づくりの里であったが、当時は写経用紙や浮世絵の版面用紙をつくったといわれている。江戸時代には300軒の家が杉原川の水で紙を漉いていたが、和紙より林業の利益が大きいことから、コウソ畑が消え、杉原の谷から紙づくりが途絶えてしまったが、現在、美林の中で杉原紙研究所だけで伝統的な紙漉きが続けられている。

出典：ひょうご風景100選 風と歩く（朝日新聞神戸支局発行）、兵庫の地理（神戸新聞総合出版センター発行）  
北はりまハイランド推進協議会HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区
	百選等実績	風と歩く「ひょうご風景100選」（朝日新聞）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
関連する景観	千ヶ峰、青玉神社、杉原紙研究所	

いさりがみ

## 岩座神の棚田（斜面に連なる石積みと棚田）



岩座神地区の棚田



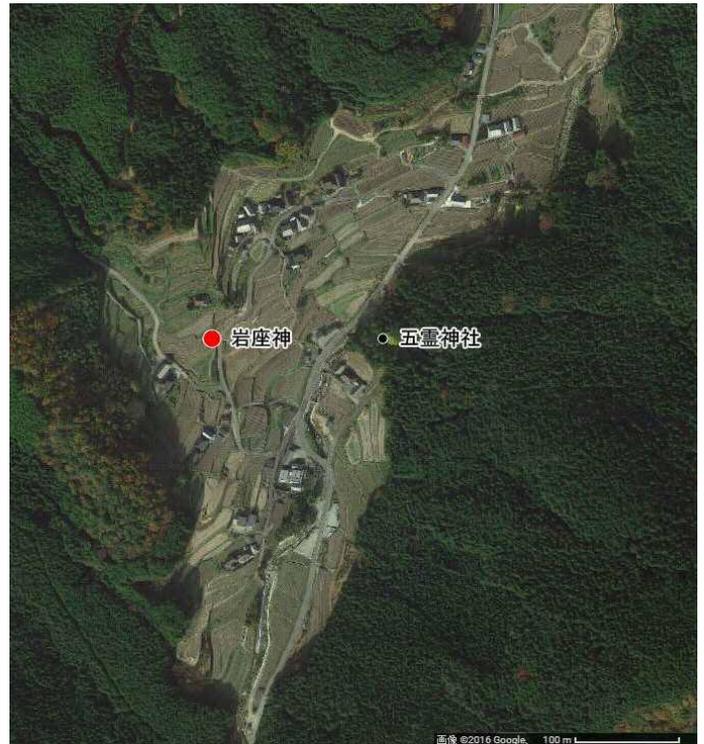
「世代を受け継いで」 撮影：松本高年氏  
 （残しておきたい“ふるさと北播磨”写真コンテスト入賞作品）



稲刈り



棚田オーナーとの田植え



岩座神は、多田川の上流部に位置する自然に恵まれた集落である。千ヶ峰への登山口としても親しまれているが、多くの人々を惹きつけてやまないのが、山間の斜面に広がる棚田の風景である。

平地に乏しい山間部で耕作面積を増やすために工夫されたもので、その原型は弥生時代にまで遡るといわれる。岩座神の棚田の特色は、鎌倉時代に築かれたという田の畔を支える石垣である。このため棚田の面積が比較的広く、斜面に連なる石積みと相まって独特の景観を形作っている。

多可町では、平成9年（1997）に兵庫県で最初に棚田オーナー制度を導入。都市住民との連携や協力により、この美しい田園風景の保全に努めている。

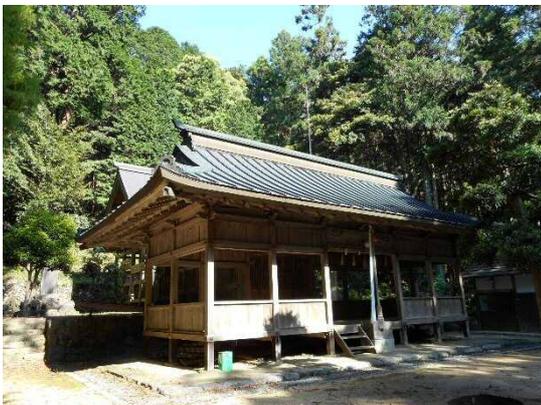
出典：ひょうご風景 100 選（神戸新聞総合出版センター発行）、多可町HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input checked="" type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区岩座神
	百選等実績	日本の棚田百選（農林水産省） 私の好きな兵庫の風景 100 選（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	千ヶ峰

いさりがみ ごれいじんじゃ  
**岩座神、五霊神社のホソバタブ（鎮守の森に守られた巨木）**



ホソバタブの巨木



五霊神社 社殿



岩座神の五霊神社境内に生育しているホソバタブはクスノキ科の常緑高木で、胸高幹周りは、大きいものから順に 4.8m、3.84m、3.38m で一番大きなホソバタブは県内最大の巨木である。直幹で下部ほど太くなり、樹高は 35m。本樹は橋を渡り、2本の杉のご神木の間を抜けたすぐ左にある。平成3年（1991）12月24日にこれら樹木3本が県の郷土記念物に指定された。

五霊神社は、文化6年（1809）9月に創立されたもので、高皇産霊神（たかむすびのかみ）、神皇産霊神（かみむすびのかみ）、火産霊神（ほむすびのかみ）、稚産霊神（わかむすびのかみ）、津速産霊神（つはやむすびのかみ）を祀っている。本殿は板葺流造りで、桧皮葺切妻造の幣殿、入母屋造の拝殿もある。境内にはスギの大木が多く存在し、ケヤキ、ツクバネガシ、カゴノキなども何本か見られる安定した鎮守の森である。高木は台風などの自然災害により家屋に被害が及ぶと伐採の要求もあったが、先端部の伐採に留め、景観を保ってきたという。森と巨木と神社は集落のランドマークとしてその姿を今に留めている。

出典：ひょうごの巨樹・巨木 100 選（社団法人兵庫県林業会議、社団法人兵庫県治山林道協会）、多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区岩座神
	百選等実績	ひょうごの巨樹・巨木 100 選（(社)兵庫県林業会議、(社)兵庫県治山林道協会）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	岩座神集落

## いさりがみ クラインガルテン岩座神（棚田の中の滞在型市民農園）



クラインガルテン岩座神



ラウベ（滞在施設）



クラインガルテン岩座神は、滞在型市民農園施設である。クラインガルテンとはドイツ語で「小さな庭」を意味し、自給自足の小作菜園が始まりで市民農園のことをいう。約 158～276 m<sup>2</sup>の大きさに区切られた 15 の区画には、ラウベと呼ばれる木造平屋建ての滞在施設が整備されている。日本の棚田百選に選ばれた岩座神の棚田のなかで日本の農村の原風景を味わいながら、農に親しむ暮らしを楽しむことができる。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input checked="" type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区岩座神 251-1
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
関連する景観	岩座神集落	

## 神光寺（集落の奥にひっそりとたたずむ山寺）



神光寺



神光寺 山門



神光寺 金剛力士像



神光寺 参道



神光寺は、白雉年間に法道仙人による開基といわれ、堂伽藍も多く、坊舎も百余りを持ち、本寺は隆盛を誇ったと伝えられている。当時は現在の位置よりさらに山中にあったが、天正の兵乱により廃退した。その後、宝暦年間に明道上人が往寺の末光院を復興して神光寺とした。信者も多く、遠くは丸亀や出石からも参詣者を集めたといわれている。本尊は十一面観音立像で、寺から少し離れた段々畑の中に建つ山門には威厳のある金剛力士像が安置されている。岩座神集落の奥の高台にひっそりとたたずむ山寺は、鳥の声と梢をわたる風の音が森閑とした空気をふるわせている。

出典：多可町の版木（多可町文化遺産活性化実行委員会）、多可町HP、ハートにくっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区岩座神
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	法道仙人、明道上人
	活動団体等	
	関連する景観	岩座神集落

## 松か井の水（室町時代から親しまれた名水）



松か井の水



新松か井の水公園



松か井の水



室町時代、この地域を支配していた赤松義村が定めたとされる播磨十水の一つ。昔、幕府の直轄地であった松井庄は、生野代官所の管轄にあったこともあり、生野への道である奥荒田から越知谷に通じる高坂は、交通の要所として人の行き来が盛んだった。その坂の途中に松か井の水の飲み場がある。この清水は「水のみ水」という通称で親しまれ、坂道を行き来する人は、必ずそこで水を飲んでた。現在でも、より美しくよりよい環境のもとで水を汲んで欲しいとの願いから、平成13年（2001）に環境整備が行われた。以降、集落でも年5回程度、掃除・植木の剪定などを行い、四季折々の風情豊かな自然景観を大切に守っている。平成20年（2008）6月、環境省により平成の名水百選に選定された。

出典：多可町HP、北はりまハイランド推進協議会HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区奥荒田
	百選等実績	平成の名水百選（環境省） ひょうご紅葉四十八景（神戸新聞）
	祭礼、行事等	
	関係人物	赤松義村
	活動団体等	奥荒田集落
	関連する景観	

こんぞうじ  
**金蔵寺**（標高400mの山中に建つ寺院）



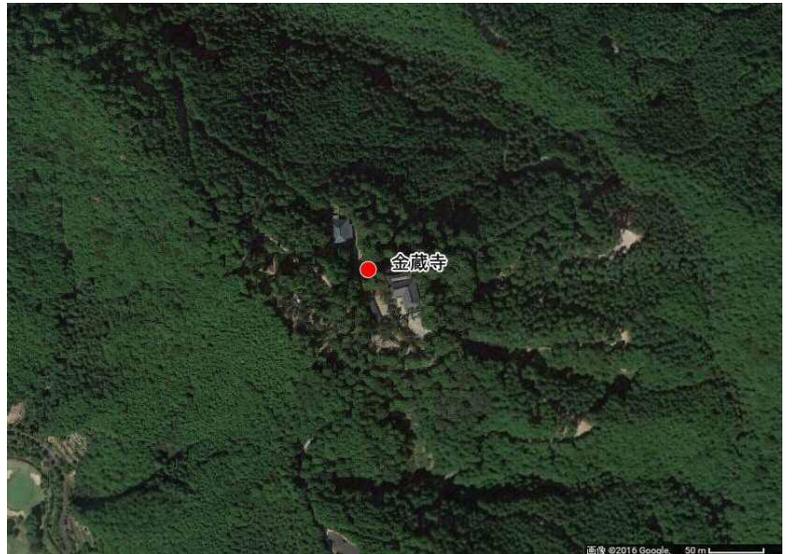
金蔵寺 本堂



金蔵寺 庫裡



宝篋印塔（ほうきょういんとう）と弁天堂



金蔵寺は、真言宗高野山派の寺である。その昔、笠形山に6cmほどの黄金薬師如来が出現、当方面の地神と崇められる熊野権現の導きにより金蔵山へ移られ、大木上に止まっておられたのを、大和大峰山の役の行者が御仏のお告げで、白雉年間にこの山を開かれたと伝えられている。更に行基菩薩が天平3年（731）に登山されて、自ら大きな仏像を刻まれ、黄金物を胸に納めて本堂を建てられ、以来、金蔵山金蔵寺と称されるようになったと伝えられている。その後、慈覚大師もこの山に住まれたことがあると伝えられ、奥の院には役の行者尊、行基菩薩、慈覚大師の銅像が祀ってある。

現存の建築物は、奥の院、安政年間に改築された本堂、鐘楼をはじめ弁財天堂、こもり堂、鎮守堂、八角堂、庫裡などがある。境内には護摩道場もあり、毎年春秋の彼岸には先達修験者が集まり、柴燈大護摩供（さいとうおおごまく）を行っている。

人里離れた標高400mの山中に建つ寺には、夏でもひんやりと涼しく澄んだ空気が流れている。

出典：多可町の版木（多可町文化遺産活性化実行委員会）、多可町HP、ハートにくっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区的場
	百選等実績	
	祭礼、行事等	柴燈大護摩供
	関係人物	行基菩薩、慈覚大師
	活動団体等	
	関連する景観	

## 荒田神社（播磨国二宮として崇敬を集める式内社）



荒田神社のお祭り



荒田神社は式内社で、少彦名命（すくなひとなのみこと）、木花開耶姫命（このはなさくやひめのみこと）、素盞鳴命（すさのおのみこと）の三神を祀っている。神社に残る言い伝えでは、天平勝宝元年（749）に少彦名命が村内の福原字神立にご降臨になり、その夜、村に大雨が降った。そこで、村人達は雨が上がるのを祈ったところ願いが叶ったため、これに感謝して村内字野尻に小社を建てて、荒田神社と称したと伝えられている。また、播磨国風土記に登場する天目一箇命（あめのまひとつのみこと）、道主日女命（みちぬしひめのみこと）を祀った社であるともいわれている。平安時代には坂上田村麻呂の崇敬を受けたと伝えられているのをはじめ、播磨国二宮として、多くの崇敬を集めてきた。

境内には桧皮葺流造の本殿と、桧皮葺切妻造の幣殿、桧皮葺入母屋造の拝殿があり、宝物として剣・古刀・宝鏡などがあり、由緒ある歴史を今に伝える景観資源である。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区的場 145-1
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	坂上田村麻呂
	活動団体等	
	関連する景観	

ぎみんなつうめたるううえもん

## 義民夏梅太郎右衛門の碑（地域の歴史を伝える場）



夏梅太郎右衛門顕彰碑



徳川中期、生野代官の年貢取り立てがきびしく、庄屋の夏梅太郎右衛門は、再三、代官に減税を嘆願したが、一向に聞き入れず逆にとらわれの身となり、この地において処刑された。明和元年（1764）6月25日、集まった村人達に、夏梅太郎右衛門はこう言った。『自分は微力で村人達の苦しみを取り除く事が出来なかった。しかし、これで惨酷な代官達も思い直すであろう。我が志をついでみんなで頑張ってくれ……。』以降、暴政は止み、村人達は安心して生活ができたという。村民は、彼を慕って小さな祠を建てたが、彼の稀なる志を忘れることのないように有志が立ち上がり、明治44年（1911）7月20日にこの石碑を建立し後世に永く伝えていく。その後、平成15年（2003）に新顕彰碑を建立し除幕式を行った。碑は地域の謂れを今に伝える役割を果たしている。

出典：多可町HP、北はりま田園空間博物館HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区熊野部
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

あおたま

## 青玉神社（杉の巨木に囲まれた境内）



社殿と大杉



夫婦大杉



湯立て祭り



社殿とイチョウの木



青玉神社は天戸間見命（あまときみのみこと）と大歳御祖命（おおとしみおやがみのみこと）を祀っている。最初、三国岳の頂上に鎮座し、のちに現在の地に移されたと伝えられている。一説では、天戸間見命が神木にお触れになったところ片眼を失明されて青色になったことから、そう呼ばれるようになったという言い伝えがある。柿葺流造の本殿、檜皮葺切妻造の幣殿、萱葺入母屋造の拝殿をもち、境内には杉が林立し、森閑とした空間を作り出している。中でも、拝殿を拝むように立つ7本の杉は樹齢600年～1000年という巨木で、県指定天然記念物である。樹齢千年とも言われる群生大杉のうち、最も巨大な杉は、地上8mの幹の途中から2つに分かれて天に伸びており、夫婦円満と縁結びのご利益が信じられている。乳の木は樹齢1000年程度になる銀杏の大木で、太い枝のいたるところに大きな乳房に似た変形枝ができています。

毎年7月中頃に神社境内で行われる湯立て祭りでは、青玉神社の境内に正面左右2列に幣を立てて釜を並べる。社殿寄りの釜は『本釜』、下座の釜を『添え釜』という。巫女が『浦安の舞い』を舞い、神前の儀式が終わると、湯の前で『四方拝』を舞い、神楽に合わせて湯気をたてている一つひとつの釜に神酒、洗米を少しずつ入れて榊の枝で湯をかき混ぜる。次に2束の笹で釜の湯をかき回し、左右に3回ずつ湯をはねる。この湯をかけてもらおうと夏負けしないとされている。地域の歴史と文化を継承する景観である。

出典：多可町HP、北はりまハイランド推進協議会HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区鳥羽 735
	百選等実績	ひょうごの森百選（兵庫県） ひょうごの巨樹・巨木 100 選（(社)兵庫県林業会議、(社)兵庫県治山林道協会） 風と歩く「ひょうご風景 100 選」（朝日新聞）
	祭礼、行事等	湯立て祭り
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	杉原川、杉原谷

## 杉原紙と楮の川さらし（1300年以上の歴史を誇る伝統の和紙）



「杉原川の川さらし」 撮影：都倉重忠氏

(残しておきたい“ふるさと北播磨”写真コンテスト入賞作品)



川さらしの様子



杉原紙研究所



紙すき風景



1300年以上の歴史を誇り、平安貴族や鎌倉幕府からも珍重された杉原紙の産地とされる杉原谷には、杉原川の清流が流れる。

薄く柔らかで丈夫な杉原紙は、杉原谷に自生する楮（コウゾ）を原料とし、最盛期には製紙業者が300軒を数えたという。明治になると洋紙の普及に押されて衰微し、大正の末には生産が途絶えて、幻の名紙となっていた。

旧加美町では、昭和47年（1972）に杉原紙研究所を設立し、昔ながらの原料や技法による紙漉きの復活に着手。同年には県の重要無形文化財に認定され、古から続く和紙の里の伝統を今日に受け継いでいる。原料の楮を一戸二株運動で確保するなど、その復活には地域ぐるみの協力が不可欠であった。

冬季の杉原川で楮の白皮を晒す昔ながらの作業を経ると、杉原紙はより一層白く美しいものとなる。

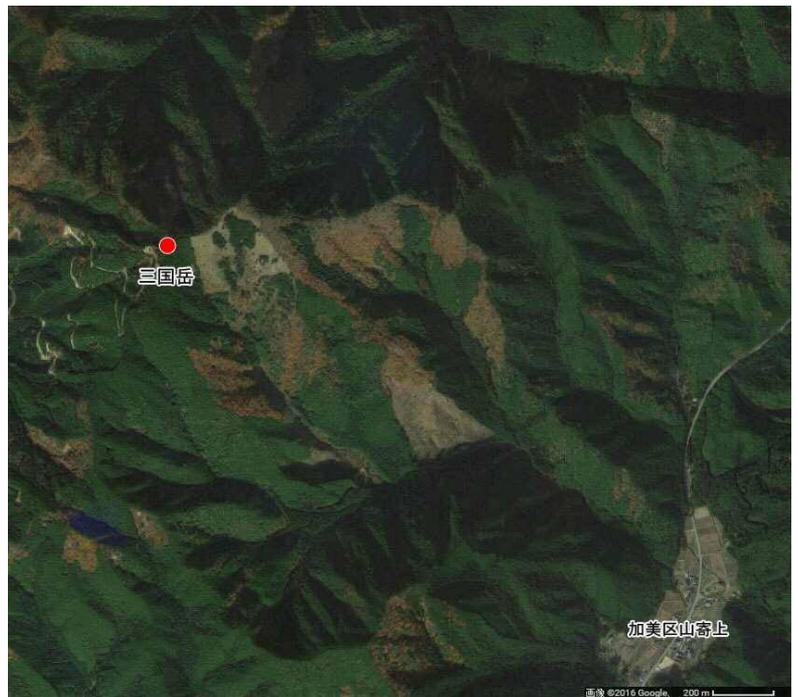
出典：ひょうご風景100選（神戸新聞総合出版センター発行）、多可町HP、北はりまハイランド推進協議会HP、北はりま田園空間博物館HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区鳥羽
	百選等実績	私の好きな兵庫の風景100選（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
関連する景観	千ヶ峰、杉原川、杉原紙研究所	

## 三国岳（播磨、但馬、丹波の境にそびえる山）



三国岳



三国岳は、朝来群山県立自然公園の南に位置し、播磨、但馬、丹波の国境にそびえる標高 855mの山であり、「ふるさと兵庫 50 山」のひとつに数えられている。三国山麓には優れた山林があり、つきることのない渓谷には滝や淵がある。草深い谷には、夏になると百合の花が咲く。こうした自然豊かな景観は私たちの目を楽しませ、山登りの喜びをより一層味わうことができる。

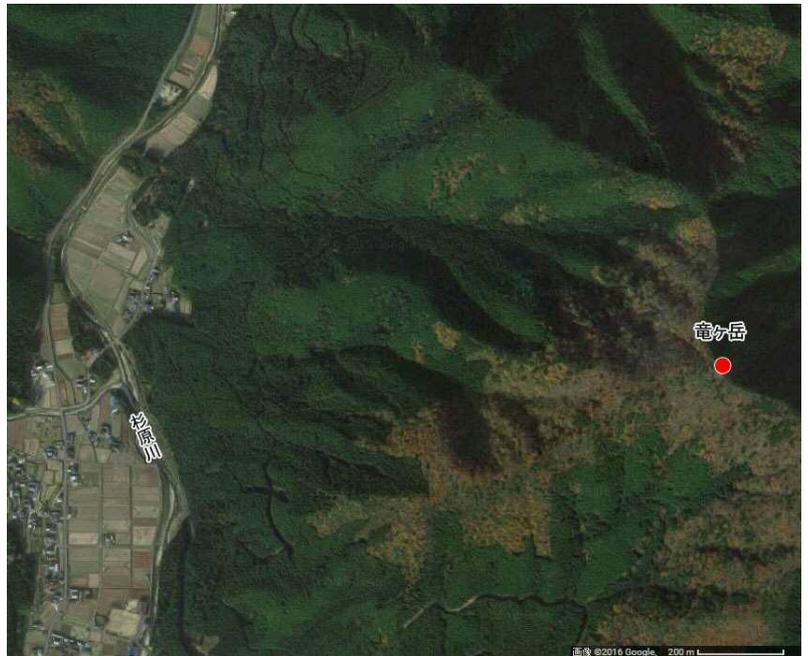
出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区鳥羽、山寄上
	百選等実績	ふるさと兵庫50+8山（神戸新聞）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 竜ヶ岳（雨乞信仰と関わりのある山）



竜ヶ岳



加古川本流とその支流である杉原川を隔てる山で、丹波と播磨の旧国境にあたる。山名の由来は定かでないが、雲を呼び、雨を降らせる竜の名前の付く山は、雨乞信仰との関わりが深く、かつてこの山の頂でもそうした祈願が行われていた。頂上へは加美区から清水坂を経由するコースが一般的である。山道へ入り、浅い谷川の右の植林帯を上り峠に出る。道の両側に地蔵尊と石室跡が残っている。モミやヒノキの高木を仰ぎ見ながら短い笹を踏みしめて行く小道には、よく整備された一般道とは違う魅力がある。頂上に立つと杉原川を隔てて千ヶ峰と笠形山の美しい山容を望むことができる。

出典：ふるさと兵庫 50+8 山（神戸新聞総合出版センター発行）

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区鳥羽、清水
	百選等実績	ふるさと兵庫50+8山（神戸新聞）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 雲門寺庭園（日本建築の粋を集めた大伽藍と庭園）



雲門寺 門



雲門寺 本堂



雲門寺 庭園



雲門寺は、応永8年（1401）仏徳大通禪師によって開かれた臨済宗妙心寺派の寺院である。禅の道場として有名な寺で、日本建築の粋を集めた大伽藍と庭園は素晴らしく、侘び寂びの極みを感じさせてくれる。

寺には東庭と北庭が作庭されていたが、北庭は広場になり消滅した。回顧録によると、東庭は嘉永3年（1850）頃に完成しているという。庫裏書院及び方丈の裏庭にあたり、裏山のなだらかな傾斜を利用して作庭された池泉鑑賞式庭園である。庭好きの和尚が、土地の黒鍬と呼ばれる石積み工を使っての作庭で、地方色を見せる貴重な庭である。

出典：兵庫県の日本庭園（神戸新聞総合出版センター発行）、多可町HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区清水213
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	仏徳大通禪師
	活動団体等	
	関連する景観	

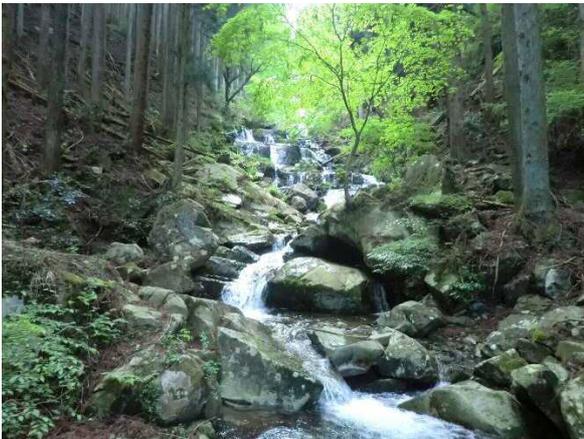
## 雄滝・雌滝（千ヶ峰登山道の景勝地）



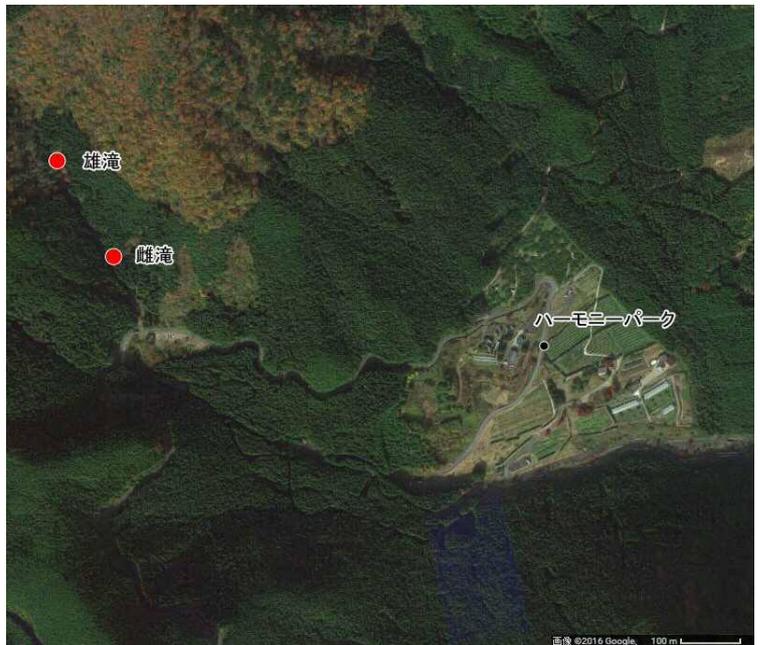
雄滝



雌滝



登山道沿いの溪流



雄滝、雌滝は、千ヶ峰の登山口から約200mの地点にある景勝地で、ここから約300m先には開けた岩場があり、冷気漂う休憩場となっている。雌滝は落差15m程度であるが長大な斜瀑である。雄滝も落差は15m程度であるが、形のいい分岐瀑である。雄滝は登山道から遠望できるが、滝下まで近づくことができる。雨量の少ない時期には、滝の水量も少なくなっている。

山腹の急こう配の道筋にある三谷溪谷からは滝が散見でき、多彩な落差の“水のショー”を演じている。

出典：ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）、多可町HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区三谷
	百選等実績	ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## ハーモニーパーク（四季の果実が実る農林業公園）



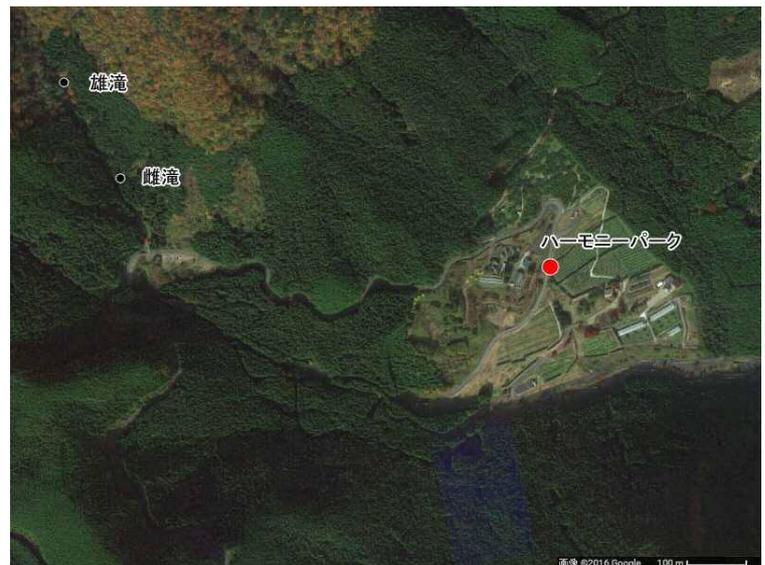
宿泊施設のロッジ



上：リンゴ狩り、左：スモモ、右：リンゴの花



バーベキューハウス



北播磨の最高峰千ヶ峰（1,006m）のすそ野に広がる15haの農林業公園で、園内には、いろいろのある10人用ロッジや4人用ロッジが完備され、レストラン、宿泊施設、木工の創作が体験できるウッディ教室など多彩な設備を備える。四季折々の果実が実る果樹園もあり、多くの花木を楽しめる。果樹園ではリンゴ・なし・サクランボ・栗などを栽培し、収穫した果物の販売もしている。毎年5月1日～6日にリンゴの花が見ごろとなり、果樹園の中を遊歩道で巡ることができるなど、農の景観を楽しめる場となっている。

出典：ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）、多可町HP、北はりまハイランド推進協議会HP、北はりま田園空間博物館HP  
ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区三谷 663-1
	百選等実績	ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
関連する景観	千ヶ峰	

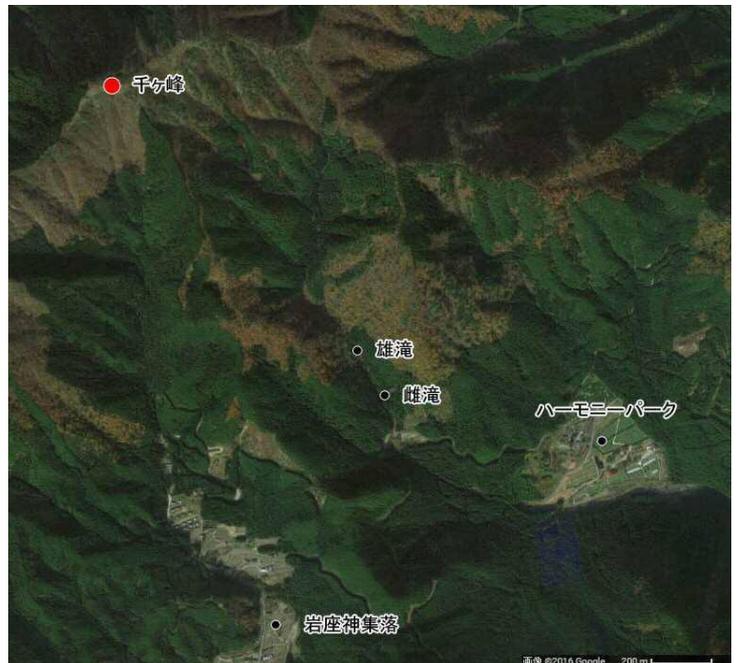
## 千ヶ峰（播磨地方の最高峰、360 度のパノラマ）



千ヶ峰



千ヶ峰からの眺望



播磨地方の最高峰、標高 1,005mの千ヶ峰は、付近に 800m級の山々を従え、笠形山千ヶ峰県立自然公園の一角を占める。山頂付近には立木がないため、山上からは 360 度のパノラマが広がる。

頂の周囲を覆うクマザサやススキも雄大な景観に趣を添え美しい。県内屈指ともいわれる眺望は、北方に播磨・但馬・丹波の三国にまたがる三国岳、東には杉原川の谷筋を隔てて竜ヶ岳、篠ヶ峰の山並みが連なり、天気がよければ南東の妙見山越しに、明石海峡大橋までが一望できる。尾根伝いに南に連なる笠形山、西方には段ヶ峰から千町ヶ峰にかけてのなだらかな尾根が播磨と但馬の境を示している。

千ヶ峰山頂までは、ハーモニーパークや岩座神集落を経由するコースが利用できる。

出典：ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）、ひょうご風景 100 選（神戸新聞総合出版センター発行）、多可町HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区三谷
	百選等実績	ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県） 私の好きな兵庫の風景 100 選（兵庫県） ひょうごの森林浴場 50 選（兵庫県） ふるさと兵庫 50+8 山（神戸新聞）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	雄滝・雌滝、ハーモニーパーク、岩座神集落

## ラベンダーパーク多可（ラベンダーに親しむ交流施設）



ラベンダーパーク多可



ラベンダー園



ふれあい広場



ラベンダーパーク多可は、県道丹波・加美線の集客施設として計画され、地元と行政が一体となって整備を進め、平成 20 年 6 月 15 日にオープンした。3.5ha のラベンダー園を中心に、ラベンダーを使った体験や研修ができる活性化施設、物品の販売を行う加工販売育苗施設が立地しており、芝生広場や里山林と合わせて全体で 5.0ha に及び。6月中旬から7月中旬頃になると、ラベンダーの花の見頃をむかえる。ラベンダー園の背後には標高 794m の大井戸山、眼下には轟・西山地区の棚田、見上げれば標高 1005m の千ヶ峰を望むことができる。

出典：多可町HP、ラベンダーパーク多可HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区轟 799-127
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
関連する景観	千ヶ峰、大井戸山、轟・西山地区の棚田、	

## 西山・轟の棚田（オーナー制度を通じた棚田の再生）



棚田オーナー制度（西山・轟だんだんファーム）



ふれあい荘と眼下に広がる集落



西山集落では、平成10年に轟集落とともに棚田環境整備委員会を結成し、棚田オーナー制度（西山・轟だんだんファーム）や畑作オーナー、棚田交流人（県募集の棚田ボランティア）を受け入れた。これにより、荒廃した農地の草刈りや耕起を行い、休耕田をよみがえらせることに成功した。

また、西山集落のふれあいグループが余暇や休日を利用し、約1ヶ月をかけて完成させた「ふれあい荘」は、棚田オーナーの休養や集落住民のふれあいの場として利用されている。高台にあるふれあい荘からは、眼下に杉原谷の集落が広がり、その背後に連なる山脈を一望にすることができる。

出典：多可町HP、ハートにくっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input checked="" type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区西山、轟
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	棚田環境整備委員会（西山集落、轟集落）
	関連する景観	

## 日光寺（文殊さんとして親しまれる寺院）



日光寺



文殊堂



日光寺は、臨済宗妙心寺派のお寺で、本尊は文殊菩薩である。開山年代は不詳であるが、延宝検地帳に除地の記載があることから、少なくとも400年以上前の開基といわれている。山の裾に文殊菩薩を奉祀する堂宇が建ち、知恵をさずける文殊さんとして人々に親しまれている。文殊堂はもともと小屋場山にあったものを、いつのころからか現地に移転された。

1月には文殊まつりが行われ、知恵の輪くぐりや絵馬や護符は人気が高く、近隣の学生がこそってお参りする。戦後途絶えていたが、数年前から毎年開催するようになった。

秋には見事な紅葉が見られるほか、近くには西国八十八ヶ所巡りの霊場、日切り地蔵、子安観音寺があり、周辺の住民に親しまれた景観資源となっている。

出典：多可町の版木（多可町文化遺産活性化実行委員会）、多可町HP、北はりま田園空間博物館HP、ハートにくっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区丹治
	百選等実績	
	祭礼、行事等	文殊まつり
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 凍りこんにやく（地域の伝統的な郷土食）



凍りこんにやく



凍りこんにやくは、戦前は保存食として重宝され、丹治地区の周辺には約 400 軒の製造業者があったが、現在は丹治集落にある 1 社（畑中義和商店）のみとなっている。

兵庫県凍りこんにやく同業組合では、凍りこんにやくの振興に尽力した観音寺出身の藤田平右衛門氏の 30 年もの永きにわたる功績を称え、大正 8 年（1919）に顕彰碑を立てた。今では、門村の島田橋から観音寺地内に移され、郷土の特産品の歴史を物語る由緒ある石碑である。

凍りこんにやくは、通常 1 月中旬～3 月中旬の厳しい冬に「凍結」と「解凍」の作業を繰り返してできあがる。屋外にこんにやくが並んで吊るされた様子は、地域の伝統的な食文化をあらわす特徴的な景観となっている。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

ふるさと兵庫を構成する主要な景観 <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区丹治
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 桜公園（200本のソメイヨシノが咲き誇る桜の名所）



桜公園



桜公園



桜公園は、多可町加美区丹治にあり、篠ヶ峰（標高827m）の山麓にひろがる北播磨有数の桜の名所として知られている。樹齢20年以上のソメイヨシノが約200本植えられており、見どころを迎える4月上旬頃になると辺りが薄紅色に染まり、満開の桜の下で花見をする人々で賑わう。

出典：多可町HP、北はりま田園空間博物館HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区丹治
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

おいぶくろ ばいかも

## 大袋の梅花藻（清流の可憐な花）



梅花藻（ばいかも）



加美区大袋地区は、「おいぶくろ」とも呼ばれ、加古川の支流である杉原川中流域に位置している。三谷から大袋の土地の標高差 200mの丘陵をみた眺めが袋を背負っているようであったことから、はじめは「負い袋」と呼ばれていたともいわれている。この大袋地区の水路には、キンボウゲ科の多年草で、山地清流など澄んだ水に自生する梅花藻が生育している。兵庫県内で梅花藻の名所とされている場所は、10箇所程度あるが、播磨地域では、大袋地区だけである。毎年5月から8月頃まで開花が見られ、梅の花のようにかわいい花を持つ水草が道行く人の心を和ませてくれる。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区大袋
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

はせがい

# 箸荷むらづくり委員会（住民協定による景観づくり）



箸荷地区の風景



箸荷紅茶の会の取組み



花いっぱい運動の取組み



箸荷地区では、平成 11 年度から景観むらづくりに取り組んでいる。美しい農村景観を次世代に残していくため、学習会やワークショップ、住宅全戸の色彩調査、先進地の視察研修などを実施し、平成 12 年度（2000）には建物の新築・改築の際に農村景観に配慮した構造、色、形とすることなどを申し合わせた「景観むらづくり協定」を締結。県が認定する住民協定制度の第 1 号として、平成 13 年（2001）2 月 9 日に県知事から認定を受けた。

これまで、集落の主婦らが結成した「箸荷紅茶の会」による茶の生産や、「花クラブ」による沿道の花植えなど地区の景観づくりに寄与する取組みが住民主導により行われてきた。

これらの取組みが評価され、第 3 回「人間サイズのまちづくり賞」まちづくり活動部門を受賞（兵庫県）するなど、心豊かな景観づくりが続けられている。

出典：兵庫県 HP、多可町 HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input checked="" type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区箸荷
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	箸荷むらづくり委員会、箸荷むら芝居保存会、箸荷紅茶の会、花クラブ
	関連する景観	

## 大歳神社（五穀豊穡、諸業繁栄を願う百々手(ももて)祭り）



大歳神社 社殿



大歳神社 百々手(ももて)祭り



大歳神社から箸荷地区を望む



大歳神社の祭神は大歳神で、柿葺流造の本殿は元禄 13 年（1700）に再建されている。ほかに杉皮葺入母屋造の拝殿を有している。

毎年 2 月 11 日の建国記念日には、その年の五穀豊穡や諸業繁栄などを願う百々手（ももて）祭りが行われている。玉串奉納、神事が終わると宮司や当人達 12 人が手製の弓と矢で約 15m 先の的を射る。的の中央には鬼と書かれ、その上を墨で塗りつぶし、四方の悪魔を弓矢で追い払う。矢を家に飾っておけば福が授かるとあって、境内に集まった村人達は競うように矢を取り合う。この後、境内で餅まきが行われ一層盛り上がる。

このように、大歳神社では伝統的な祭礼の景観が今に受け継がれている。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区箸荷
	百選等実績	
	祭礼、行事等	百々手（ももて）祭り
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

おくとよべ

## 奥豊部古墳（山麓部に築造された古墳群）



奥豊部1号墳 外護列石、横穴式石室



奥豊部1号墳 出土遺物



奥豊部古墳は、6世紀から7世紀頃に築造された古墳群であり、東向き山麓部に14～15基の横穴式石室墳が確認されている。平成9年（1997）に1号墳の発掘調査が行われ、全長12.4m×10.4mの古墳の周りを取りまく外護列石といわれる石列や、全長9.4mを測る長大な横穴式石室が検出されたほか、石室内からは、比較的良好な状態の土器や金属器が大量に出土した。また、羨道部付近からは、6世紀後半とみられる提瓶（ていへい）が、ほぼ完全な形で採集されており、古代の歴史を感じさせる景観資源である。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町加美区奥豊部
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 大歳金刀比羅神社（播磨を代表する祭礼）



大歳金刀比羅神社



大歳金刀比羅神社 拝殿



大歳金刀比羅神社 本殿



大歳金刀比羅神社 参道と桜



キツネガリ（間子）



鍛冶屋集落の大歳金刀比羅神社で毎年11月に行われる金刀比羅祭礼は、かつて十万人余の参詣者があり、姫路の総社祭、北条の節句祭と併せ「播州三大祭」と言われている。神事として、12月大晦日には「すすめのもん」という鍛冶屋集落独特の行事が催されている。また、境内の稲荷神社を「若宮さん」とよび、子どもたちによる「キツネガリ」行事が催されている。キツネガリは、毎年1月14日の「とんど」の行事に先立ち、集落の中学2年生と小学生の男子全員で行われる。この行事は、豊作を祈願して、子どもたちが集落の境に御幣を立てながら、集落を一周する行事で、「おろろやころろ おまえこでなにしてる おおがみさんにおこられて きつねがりほーいほーい」と歌いながらまわることで有名である。

これらの行事は地域を代表する文化的な景観である。

出典：多可町HP、北はりま田園空間博物館HP、神戸観光壁紙写真集HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区鍛冶屋、間子
	百選等実績	
	祭礼、行事等	金刀比羅祭礼、とんど、すすめのもん、キツネガリ
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	加都良神社（間子）

## 逆池のジュンサイまつり（懐かしい風景を残す池）



「ジュンサイまつり」 撮影：齋寺義則氏  
（残しておきたい“ふるさと北播磨”  
写真コンテスト入賞作品）



ジュンサイの摘み取り体験



ジュンサイ



ジュンサイが水面を覆う逆池



この池は取水口と洪水吐が別々に施工されているために逆池と呼ばれている。ここを通ると離縁すると言われ、この池の道は、嫁入り時には避けて通る風習があるという。

毎年6月になると逆池に自生するジュンサイを収穫したり、ジュンサイを使った料理が振る舞われる。この日は、集落住民が一同に集まり楽しいひとときを過ごす。たらい船に乗り、早乙女姿でジュンサイを採る姿は何とも言えない雰囲気醸し出す。また、桜が楽しめる芝生広場があり、北東部にはかつての植生がよく残り、なつかしい風景を残している。

出典：播磨のため池（神戸新聞総合出版センター発行）、多可町HP、神戸観光壁紙写真集HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区曾我井
	百選等実績	
	祭礼、行事等	ジュンサイまつり
	関係人物	
	活動団体等	曾我井集落
	関連する景観	

## 円満寺（「乳の木」として知られるイチョウの大木）



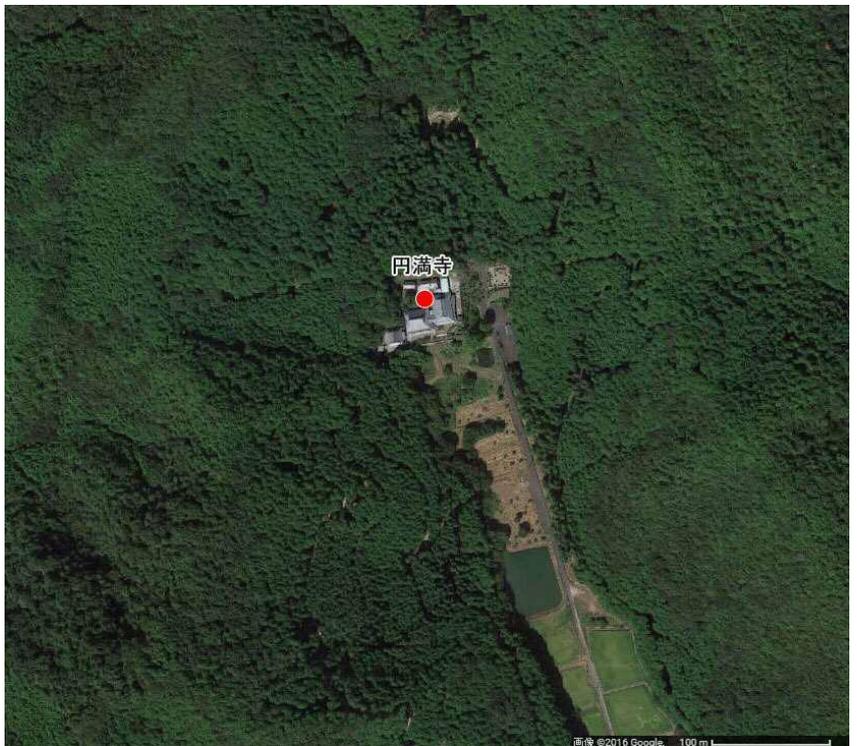
円満寺 本堂



円満寺 境内



円満寺 イチョウの大木

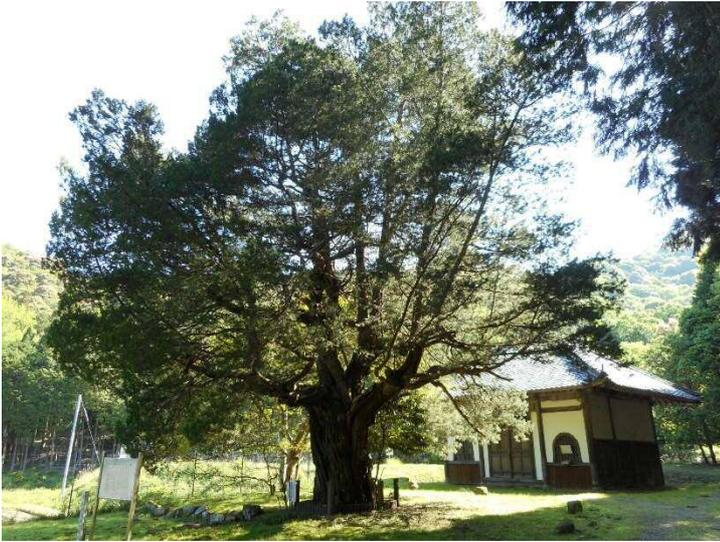


円満寺は、法道仙人により開基したといわれている高野山真言宗の寺院である。室町時代の大火で消失したが、慶長14年（1609）に明覚上人によって中興された。境内には1本のイチョウの大木がある。この木は「乳の木」と呼ばれ、母乳不足の婦人たちが祈願すると必ず乳を授かったといわれている。その姿は霊木の雰囲気漂い、森林に囲まれた境内の中で人々の拠り所となるシンボルになっている。

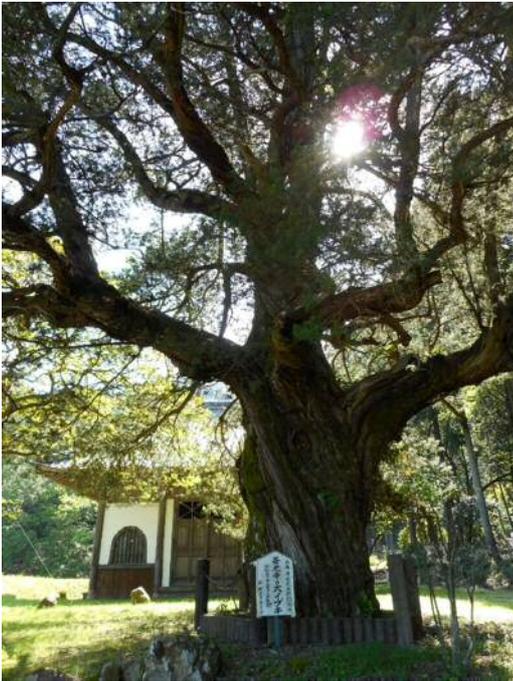
出典：多可町の版木（多可町文化遺産活性化実行委員会）、多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区西安田 707
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 善光寺の大イブキ（地域に残る古木）



善光寺と大イブキ



善光寺は平安時代に建立されたといわれており、約 400 年前に明智光秀が攻め入った際、このお寺の薬師堂に火を放ったが、祀られている薬師如来は少しも燃えなかったと伝えられている。境内には、県の天然記念物に指定されている樹齢 500～600 年と推定される高さ 17m、根回り約 4.6mの大イブキがある。イブキはヒノキ科に属する樹木であり、歴史のあるお堂と相まって、この地域では他に類を見ない特徴的な景観を呈している。

出典：多可町の版木（多可町文化遺産活性化実行委員会）、多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区東安田 713
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

たけしまさん

## 武嶋山（磨崖仏が彫られた岩山）



参道



大護摩供養



道中の石仏



摩崖仏



武嶋山



武嶋山は、多可町中区東安田の東南端、西脇市大木町との境にある岩山である。頂上には観音を祀る堂があり、約700年前に尼寺として開山したと伝えられている。本堂までの参道には、四国八十八カ所、番外十三カ所、西国三十三カ所の石仏が並んでいる。大きなたて岩には磨崖仏（行者像）があり、その昔に石工が腰にロープを縛り、上からぶら下がり彫ったとみられる。

毎年3月には、交通安全・家内安全・商売繁盛などを祈念して大護摩供養が行われる。

多可十景の一つとして知られる景勝の地である。

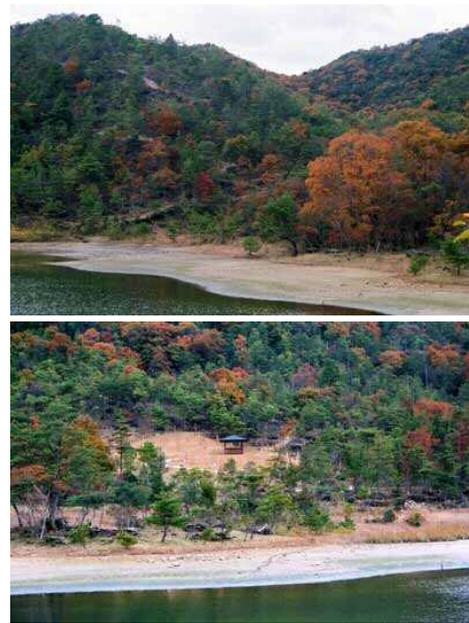
出典：多可町HP、北はりま田園空間博物館HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区東安田
	百選等実績	
	祭礼、行事等	大護摩供養
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## いぶきの森（里山林の中の自然公園）



「いぶきの森」 撮影：小笠原 利文氏  
 （第2回残しておきたい“ふるさと北播磨”写真コンテスト入賞作品）



いぶきの森



いぶきの森



いぶきの森は、10ha ほどの規模の森である。西脇市側の国道 175 号から石原坂トンネルを越えた県道の北側にある。いぶきの森周辺には標高 200m 前後の里山林が連なり、森には東屋や約 1 km の遊歩道、木道、標識が整備されている。春にはサクラやツツジが咲き、秋は紅葉に染まる。谷あいの美しい森と水辺の風景が残されており、景色を見ながらゆったりとした時間を過ごすことができる。

出典：多可町HP、北はりま田園空間博物館HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区東安田
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 徳畑天神社（樹齢数百年の杉に囲まれた神社）



徳畑天神社



徳畑天神社



壮麗な屋台の練り合わせ



徳畑天神社は、平安時代にこのあたりの領主であった源頼政公が菅原道真公を祀った神社である。氏子は奥中、茂利、徳畑、中村町の4集落であり、春には毎年、天神祭りが行われる。当日は屋台が出て、一旦は北山麓の「御旅所」に奉納され、巡幸して祭祀が進められる。氏子である3集落の屋台が打ち揃っての奉納は豪壮で大いににぎわう。

閑静な山の中に、樹齢数百年の杉木立が神社を囲んでおり、静寂な雰囲気醸している。

出典：広報たか（2012.6月号）、多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区徳畑 471-1
	百選等実績	
	祭礼、行事等	天神祭り
	関係人物	源頼政
	活動団体等	
	関連する景観	

## 中村町むらづくり協議会（あかね坂公園の維持管理）



あかね坂公園



あかね坂公園のイルミネーション

むらづくり協議会による  
花壇づくり三世交代  
クリスマスイベント

中村町むらづくり協議会は、祭りや体育・文化活動を通じて早くからこころ豊かなむらづくりに取り組んできた。集落で解決できることは集落で取り組み、全員が汗を流して、住んでいてよかったと実感できる中村町を目指そうと、むらづくり協議会が行政と協働で「むこう三軒両どなり」のむらづくりに取り組んでいる。

平成12年（2000）年には県の「コミュニケーション型県土づくりモデル事業」の指定を受け、住民参加による「あかね坂公園」の整備を行った。あかね坂公園は、JR鍛冶屋線中村町駅舎跡に作られた公園で、石の列車や線路をかたどった道が、在りし日の鍛冶屋線をしのぼせる。なお、「あかね坂公園朝そうじの会」が県と「アドプト・プログラム」を結び清掃・維持を行っている。

集落を花でいっぱいにするためのマスタープランである「中村町花回廊基本計画」を平成14年（2002）3月に策定し、また、地区全体を美術館に見立てた「花回廊あおぞら美術館」も平成13年（2001）6月に開催した。

これらの活動は、第4回「人間サイズのまちづくり賞」まちづくり活動部門を受賞（兵庫県）しており、心豊かな景観づくりといえる。

出典：兵庫県HP、多可町HP、中村町HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input checked="" type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区中村町
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	あかね坂公園朝そうじの会
	関連する景観	あかね坂公園

## 観音寺と観音の森（四季折々に変化する里山の彩り）



観音寺



福王山岩跡展望台



観音の森入口



観音寺は、高野山真言宗に属する寺院で、聖武天皇の神亀2年（725）に法道仙人が開いたとされている。境内には、当時の多可郡役所の門柱が残っている。裏庭には、趣のある日本庭園があり、涼しげな眺めや鯉が遊ぶ池を見ていると、この寺の歴史的な重みを感じられる。寺には日を限って立願すれば、地蔵菩薩像の加持力によって祈願が成就するといわれる日限地蔵がある。

観音寺の裏山一帯の「観音の森」は、「ひょうご豊かな森づくり構想」の一環としての里山林整備事業を展開。薪やキノコの採取の場として親しまれているだけでなく、コナラ、アカマツ、ヒノキなど、春には鮮やかなピンクの花を咲かせるツツジと四季折々に変化する自然の彩りが、訪れる人々を楽しませる。

山頂の福王山岩跡展望台からは、町並みや翠明湖が展望できるだけでなく、晴れた日には明石海峡大橋を見ることができるほか、斜面を利用してつくられた黒炭窯では、竹炭焼き体験が楽しめる。

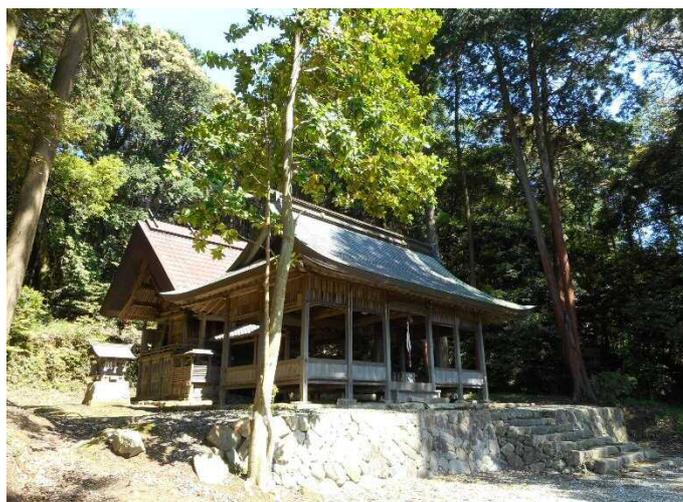
出典：北はりまハイランド推進協議会HP、多可町HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区奥中
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	法道仙人
	活動団体等	
関連する景観	翠明湖	

## あまんじゃこの長石と足跡（播磨国風土記に語られる伝承）



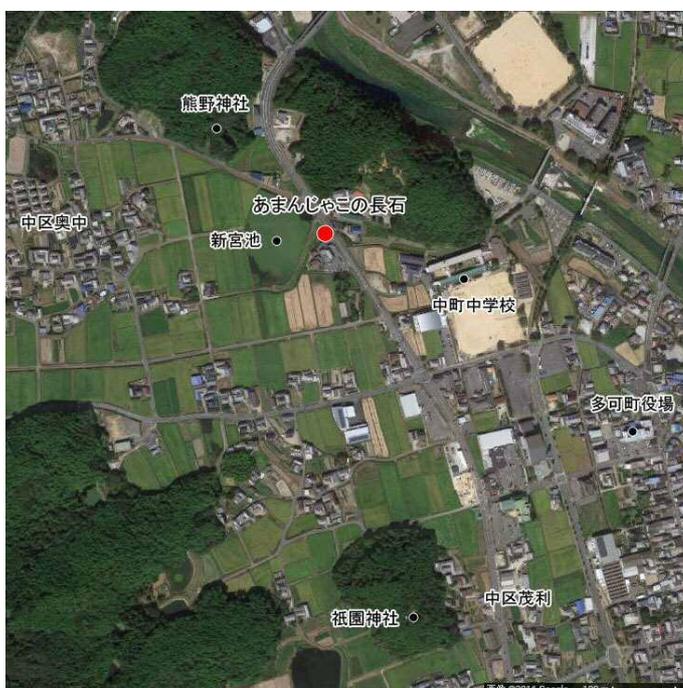
あまんじゃこの長石



熊野神社



新宮池



あまんじゃことは、播磨国風土記に登場する大男である。いたずらが大好きだったあまんじゃこは、明石から北の海に行く途中、この地に腰を落ち着けた。現在の中町中学校の裏にある丘山と茂利集落にある太子山が邪魔になるので取り除こうと、石の棒を天秤にして他へ移そうとしたところ、中ほどで折れてしまった。その石の欠片が長石として今でも奥中の集落にある。現在は、国道沿いにモニュメントとして設置されている。また、熊野神社前の新宮池は和歌山熊野神社を模したとも、あまんじゃこの足跡とも言われており、伝承として語り継がれてきた景観が守られている。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

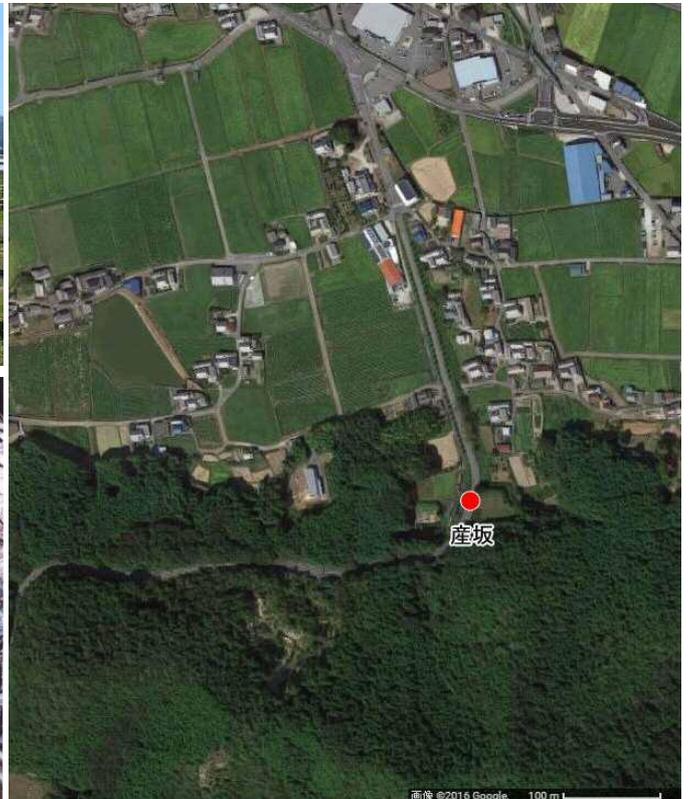
<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区奥中
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

さんざか

## 産坂（懐かしいふるさと風景）



産坂から望む農村風景



桜が咲き誇るかつての産坂

産坂は桜の名所として知られ、春には多くの花見客でにぎわう。中区で唯一の展望ポイントであり、約200本のソメイヨシノの間から見える眺めは特筆できる。眼下には酒米・山田錦を生んだ台地が広がり、点在する民家の瓦屋根が展望できる北播磨の農村の懐かしい原風景である。

出典：ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）、多可町HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区坂本
	百選等実績	ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 鳳泉寺（印象的な庭の泉水）



鳳泉寺



鳳泉寺 鐘楼



聖観音立像



鳳泉寺 庭の泉水



鳳泉寺は山号を瑞雲山と称し、孝徳天皇の時代の法道仙人の開基とされている。寺の本尊として木造の聖観音立像が本堂に祀られている。県の文化財に指定されているこの仏像は、ヒノキを用いた一本彫で、衣紋に残されている翻波式の名残から、平安時代中期の作といわれている。

庭の泉水は、天保時代の功林和尚によってつくられたといわれている。池の中にある小さなお堂や対岸に向かってのびる松、高くあがる噴水などが印象的である。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区坂本 380
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	法道仙人、功林和尚
	活動団体等	
	関連する景観	

## 県立なか・やちよの森公園（四季を通じて自然を楽しむ里山）



県立なか・やちよの森公園



森に学ぶ



森に集う



森を育てる



森で楽しむ



県立なか・やちよの森公園



県立なか・やちよの森公園は、四季を通じて豊かな自然を楽しむ里山である。都市住民をはじめ多くの人々が森で遊び、森を体験・学習し、さらには、自らが里山づくりに関われるよう、明るく親しみやすい森として整備され、炭焼きや木工クラフトなどのプログラムを通じて多彩な体験ができる。

公園からは、兵庫県の観光百選のひとつに数えられる竹谷川沿いの森林や翠明湖、北播磨の山並みが一望できる。

出典：兵庫県HP、多可町HP、兵庫県立なか・やちよの森公園HP、北はりまハイランド推進協議会HP、ハートにくっと北播磨HP、神戸観光壁紙写真集HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区靴屋 677-10
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

すいめいこ

## 翠明湖（雄大なダム湖と四季折々の変化が美しい山々）



翠明湖



翠明湖の月明かり夜景



翠明湖と桜

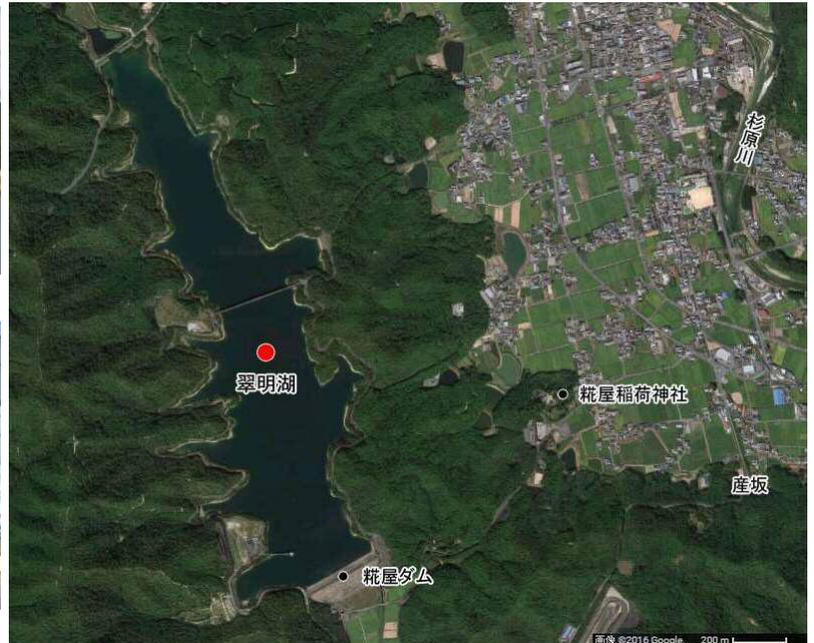


翠明湖と翠大橋



翠明湖と靴屋ダム

ターミナルマスト



翠明湖（靴屋ダム）は総貯水量 1,350 万トン、北播磨に農工業用水を供給する「母なる水がめ」である。1958 年にダム建設計画が持ち上がり、靴屋新田、徳畑両地区の約 87ha が水没したが、着工までに 12 年、完成までに 20 年を要した。

上流は、靴屋ダムの副ダムを形成、県道八千代・中線からは翠大橋やダム堰堤を遠望できる。中流には、全長 340m の翠大橋が大きくアーチを描く。橋のたもとの翠公園には「ポートピア' 81」のシンボルだったターミナルマストが移設されている。公園からは雄大なダム湖と周囲の山々や湖が見渡せ、四季折々の変化が美しい。下流は、約 300m のダム堰堤が延び、反対側には田園風景が広がる。湖岸にむき出した岩肌が人造湖を感じさせる。

春の桜、秋の紅葉、冬のカモの飛来など、静寂の中で湖面と四季折々の景色の描き出す情景が楽しめる。ダム湖を取り囲む約 12km の周遊道路は、ハイキング、サイクリング、マラソン等には絶好のロケーションになっている。

出典：ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）、多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP、神戸観光壁紙写真集HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区靴屋、安坂、茂利、徳畑
	百選等実績	ひょうごランドスケープ 100 景（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 彼岸花の里（田園風景に映える3色の彼岸花）



彼岸花の里



思出川と彼岸花



用水路の水車と彼岸花



三色の彼岸花



中区間子を流れる思出川の土手の草が生い茂った堤防を整地し、彼岸花が植えられている。毎年お彼岸の頃には赤、白、オレンジの3色の彼岸花が咲く。彼岸花の里には水車があり、設計・材料・調達・組み立て・塗装まで、集落住民の力を合わせた手づくりのものである。彼岸花と相まって美しい田園風景を醸し出している。

出典：多可町HP、神戸観光壁紙写真集HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区間子
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	間子集落
	関連する景観	

## 播州歌舞伎保存会（最後の地歌舞伎一座）



公演の様子



中央公民館播州歌舞伎クラブ



中町北小学校での稽古

播州歌舞伎は、元禄（1688～1704）年間に、加西市北条で起こった高室歌舞伎（芝居）の流れをくむ「農村歌舞伎」。昭和23年（1948）には、高室の名役者・嵐源之助氏が加わり、さらに各地の旅役者たちを受け入れて、大いに人気を博した。当時、中央の大歌舞伎に対比して、播州地方を中心に行われていた地方歌舞伎を「播州歌舞伎」と呼ばれていた。しかし、この名が全国的に知られるようになったのは、昭和48年（1973）に一座が東京の国立劇場へ出演したときからである。ポスターやチラシに「播州歌舞伎・嵐獅山一座」と記され、播州歌舞伎はいわば嵐獅山一座のブランド名になった。そして高室歌舞伎をはじめ、この地方の歌舞伎はすべて「播州歌舞伎」と呼ばれるようになった。

高室の座は昭和12年（1937）頃にすべてなくなったが、多可町中区に本拠を置く嵐獅山一座がその伝統を受け継いでいる。現役プロ役者と共に、一座の指導を受けた多可町立中町北小学校歌舞伎クラブの児童や、同校の卒業生を中心に結成された多可町中央公民館播州歌舞伎クラブ員、さらには新しく加わった一般女性らがしばしば舞台に立っている。地域の文化を伝承する取組みである。

出典：多可町HP、北はりまハイランド推進協議会HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区鍛冶屋
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	中町北小学校歌舞伎クラブ、多可町中央公民館播州歌舞伎クラブ
	関連する景観	

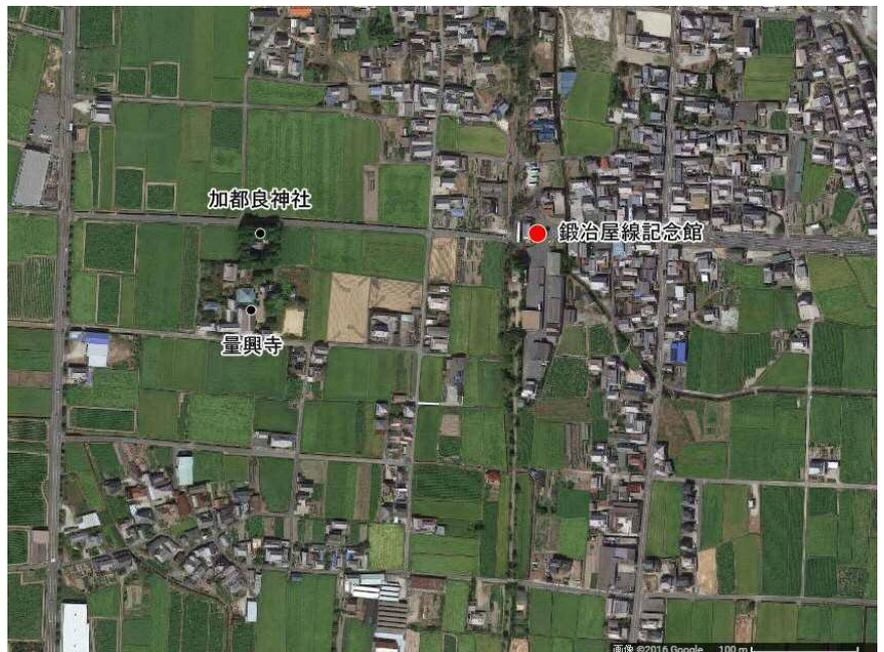
## 鍛冶屋線記念館（暮らしを支え親しまれた旧駅舎）



鍛冶屋線記念館



歩っ歩の道



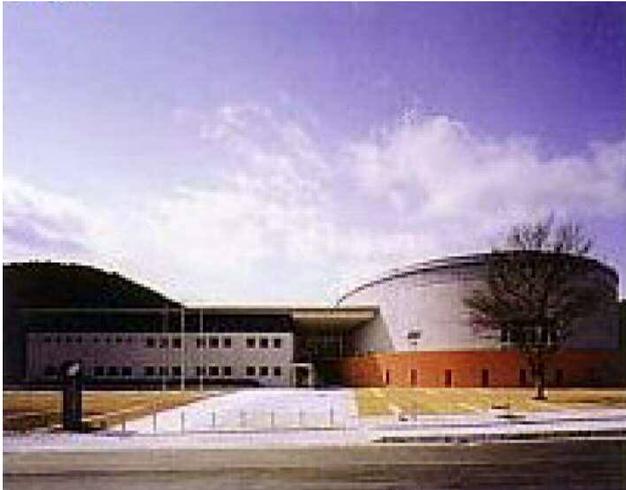
鍛冶屋線は、市原～鍛冶屋間を結ぶ播州鉄道として大正12年（1923）に誕生し、その後は播丹鉄道、さらにJR鍛冶屋線と改称されながらも、人々の足として暮らしを支え、親しまれてきた。平成2年（1990）3月には、惜しまれながら廃止されたが、線路跡地のうち約2kmがカラフルな歩道とかわいいアーチが見所の「歩っ歩の道」として整備され、多くの人々がウォーキングを楽しんでいる。

また、終着駅である鍛冶屋駅舎は記念館として保存され、車両の一部が展示されており、その足跡を知ることができる景観資源となっている。

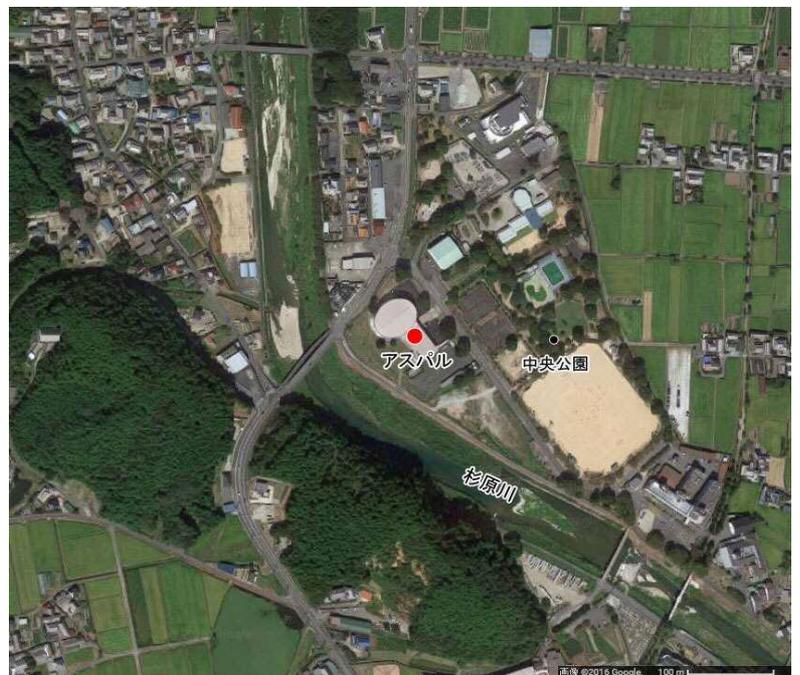
出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input checked="" type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区鍛冶屋
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
関連する景観	歩っ歩の道	

## 健康福祉センター“アスパル”（地域の新しい拠点づくり）



健康福祉センター“アスパル”



健康福祉センターアスパルは、地域委員で構成された委員会を開催しながら基本構想を策定し、さらに建設にあたっては、同基本構想を受けたプロポーザルにより設計者が選定された。このように、住民参加プロセスを経て建設された地域ならではの健康福祉施設である。開かれた交流の場という基本理念を活かすため、施設は外部に対して開かれ、フェンス等がなく、河川敷公園との一体的な利用が可能などの工夫が施されている。

第1回「人間サイズのまちづくり賞」建築部門を受賞（兵庫県）している。

出典：兵庫県HP、多可町HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input checked="" type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区岸上 281 - 51
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 虫送り（豊作を願う伝統行事）



稲の虫送り



「奥中の虫送り」 撮影：加藤誠司氏  
 （第2回 残しておきたい“ふるさと北播磨”  
 写真コンテスト入賞作品）



農薬がなかったころは、稲作の大敵は害虫だった。その害虫を子どもたちが村の外へ送り出す行事が虫送りである。中区奥中では毎年、7月になると「実盛（さねもり）さんは御上洛、稲の虫はおともせい」と、松明を手に、鐘や太鼓の響きに合わせて大声で叫びながら集落の田と田の間をまわり、稲につく害虫を追い払う行事が100年以上も前から行われていた。かつては県内各地で行われていたが、農薬の普及後は急速に衰えた。

子どもたちは、鉦や太鼓、ホラ貝を鳴らし、歌を歌い、松明を持って、麦わらの馬に乗ったサネモリ人形を先頭に村の中を練り歩く。サネモリとは、平家の武将齊藤実盛のことである。実盛は稲株につまずいて敵に打ち取られ、それを恨んで稲の害虫になったと伝えられている。松明の火が水田に映え、漁火のように田から田へと流れていく様子は、さながら幽玄の世界である。

出典：ふるさとの原像（神戸新聞総合出版センター発行）、多可町HP、ハートにくっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区奥中
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

りょうこうじ

## 量興寺（多可郡の中心地であった多哥寺跡）



量興寺



量興寺中庭 塔心礎



梵鐘鑄造の遺構



量興寺は、650年頃に推古天皇の勅願寺として建立されたと伝えられる多哥寺の後身とされる寺院である。平安末期に藤原顕頼が再興し、高倉天皇の母君の寺として寺格が高まり、量興寺となった。境内には巨大な塔心礎が残り、出土した瓦から播磨地方でも最古の寺院のひとつに数えられている。また、梵鐘鑄造の遺構は奈良時代のもので、多可町の文化財に指定されている。

多哥寺は、多可郡の中心となり郡を代表する播磨地域で最古級の寺院であったことがはっきりしている。これまでの調査で、南大門、塔、金堂、回廊、鐘楼、参道が確認されており、東西64m、南北約80mと規模が大きく、四天王寺と同様の伽藍配置の寺院だったとされる。12世紀には九篠家の荘園となり、僧房や食堂が取り壊されて水田になった。このように、量興寺はかつての多可郡の中心地として隆盛を極めた往時の面影が感じられる景観資源である。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区天田
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	藤原顕頼
	活動団体等	
	関連する景観	

## かつら 加都良神社（伝統芸能「鶏合わせ」の継承）



加都良神社



加都良之命



播州柏



小学校の生徒による鶏合わせ



加都良神社は、江戸初期もしくはそれ以前の創立と推測されている。ご祭神は加都良之命で、家内安全、開運招福などのご利益があるといわれている。神社では、昭和のはじめ頃まで「鶏合わせ」の行事が行われていた。元日の朝、お当が八柱権現の前で「大事小言、村まんべんに、五穀成就」と唱え、元気に暮らせるよう拝んだ後に、鶏を合わせ、鶏の鳴き声で豊作を占った。

鶏合わせで用いられた鶏（播州柏）は、平安時代に宮廷を中心に行われた闘鶏用の赤鶏（赤柏）と呼ばれる日本鶏の末えいで、東天紅（高知県）、火内鶏（秋田県）、伊勢地鶏（三重県）と並び日本でも有数の伝統ある鶏である。加都良神社での鶏合わせは廃れたが、多可町の播州柏保存会により大切に保存・飼育されており、平成元年には多可町の文化財に指定された。現在では、中町南小学校で播州柏の飼育と生徒による鶏合わせが行われており、伝統芸能がつくる景観が受け継がれている。

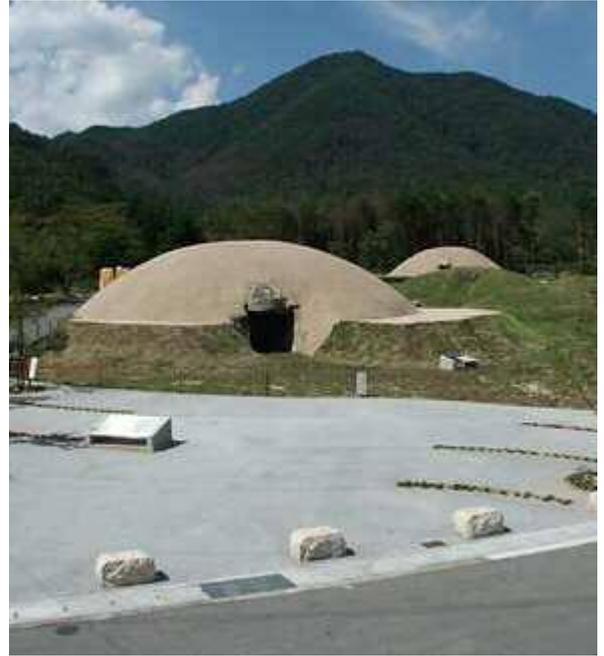
出典：多可町HP、中町南小学校HP、ハートにくっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区天田 159-1
	百選等実績	
	祭礼、行事等	鶏合わせ
	関係人物	
	活動団体等	播州柏保存会、中町南小学校
	関連する景観	

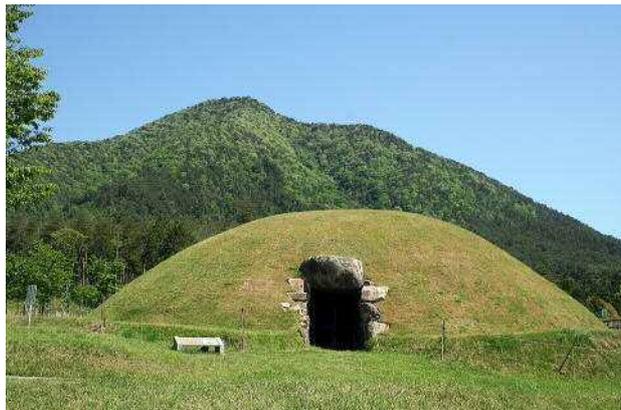
## 東山古墳群（16基で構成される豪族の墓）



東山古墳群（右上が1号墳、左下が15号墳）



15号墳と妙見山



10号墳と妙見山



7世紀に造られたとされる古墳群（古墳時代後期）は、16基で構成され、豪族の墓だといわれている。県内最大級の石室を持つ1号墳をはじめ、須恵質切妻家形陶棺（焼き物のひつぎ）が原形をとどめた状態で出土するなど、多くの出土品が発掘されている。

1つの群集墳で内容が明らかになった古墳が多いこと、墳丘径が15m～20mのやや大きな古墳が多いことも重要である。横穴式石室も全長が12m以上ある1号墳と15号墳が盟主的な規模であり、石室の作り方にも多様性がある。付近の妙見山麓には総計180基を越す後期の古墳が分布しているなど、地域を代表する歴史的な景観を呈している。

出典：古墳が語る播磨（神戸新聞総合出版センター発行）、多可町HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区東山
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
関連する景観	妙見山	

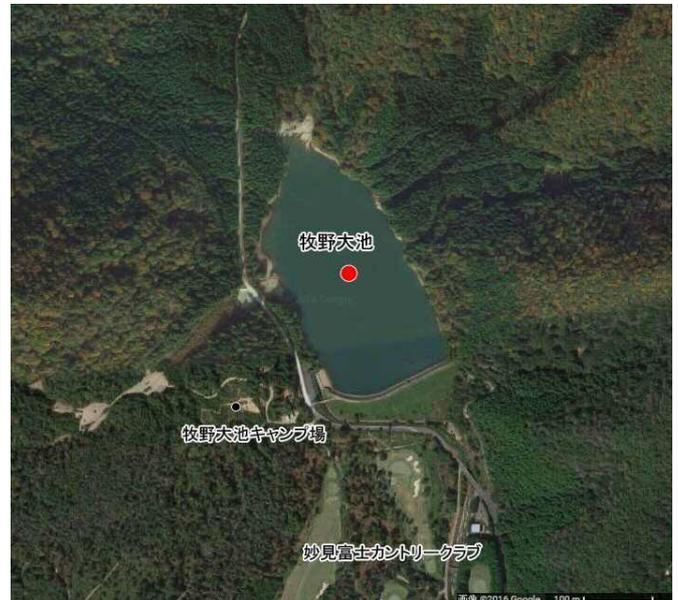
## 牧野大池（手作業で造られたため池）



牧野大池



牧野大池キャンプ場



牧野大池は、堤長 200m、堤高 5～16m の中心コア型アースダムである。大正 2 年（1913）に柏原留造氏を中心とした 8 人が、やせ地で水不足に悩む農家のため、溜地づくりを計画した。その後、大正 11 年（1922）に牧野耕地整備組合が発足し、昭和 8 年（1933）に大池が完成した。

設計は、県の土木技手だった神田榮太郎氏によってなされたが、完成に至るまでには何度か財政危機に直面し、「お嫁にやるには牧野はいやよ、池の借金で首が廻らん」と歌にまでされたといわれている。延べ 5,400 人が、つるはし、すどり、もっこ、トロッコ等などの道具を使って、ほとんど手作業で造られた。

隣接して牧野大池キャンプ場が整備されており、先人の熱意により築かれた満々と水を湛える大池は、現在は人々の憩いの空間として親しまれている。

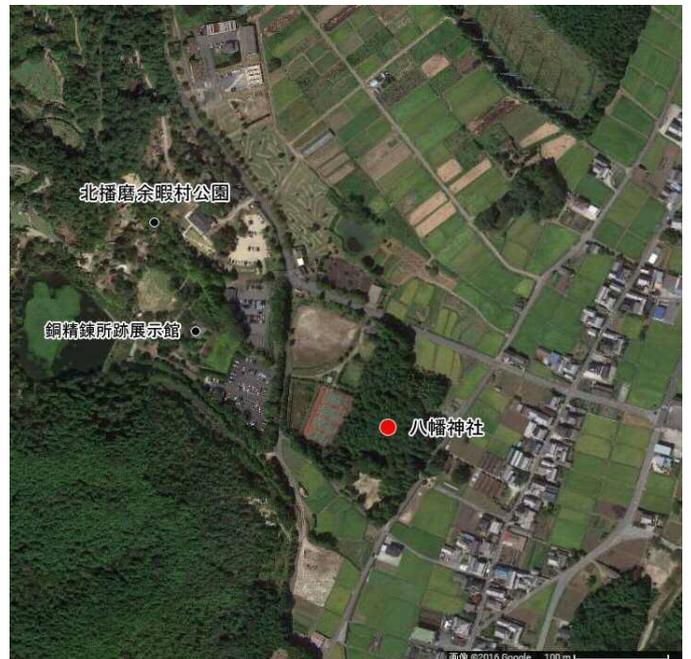
出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区牧野
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	柏原留造、神田榮太郎
	活動団体等	牧野耕地整備組合
	関連する景観	

## 八幡神社（伝統の祭事「剣の舞」「湯立て神楽」）



八幡神社の湯立て神楽



八幡神社は、慶長9年（1604）に、天田村二郎右衛門によって建立されたと伝えられている。ご祭神は品太和気命（ほむだわけのみこと）で、厄除け、開運招福、安産祈願にご利益があるといわれている。境内には村落内各所に祀られていた愛宕さん他11社が合祀されている。

この神社で行われる厄神祭は、毎年1月18日前後の休日に行われ、当日は神前で雅楽「剣の舞」で厄除け祈禱を受け、厄をまき、難を逃れる意味において、お金を神庭にまく神事がある。また、午後からは100年近く続けられている「湯立て神楽」が盛大かつ厳粛に行われる。北播磨地域では、加美区鳥羽の青玉神社と併せて有名であり、伝統的かつ独特の雰囲気を持つ祭事が今に受け継がれている。

出典：多可町HP、北はりま田園空間博物館HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区牧野 606
	百選等実績	
	祭礼、行事等	厄神祭（剣の舞、湯立て神楽）
	関係人物	天田村二郎右衛門
	活動団体等	
	関連する景観	

## 妙見山（眼下に望む故郷の原風景）



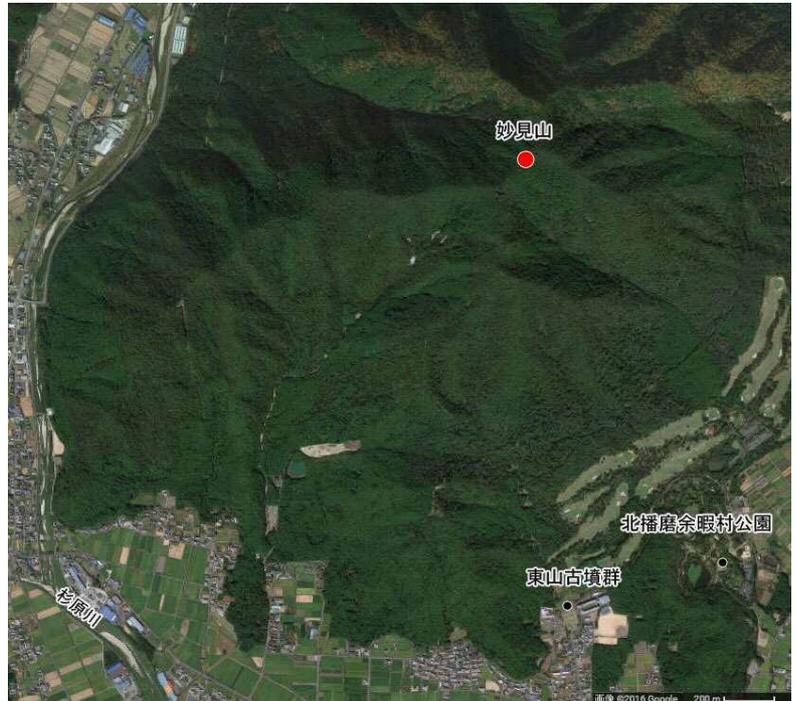
田園風景の背景となる妙見山



東山古墳群と妙見山



標高 693m の頂上



妙見山は別名「妙見富士」とも呼ばれ、多可町中区のシンボルでもある。山麓には東山古墳群や中世の城郭などがあり、またキャンプ場が整備され、四季折々の花々や植物が群生している。

標高 693m の頂上からは、眼下に広がる田園の中に点在する集落、寺社の緑、思出川とあわせてゆったりと蛇行する杉原川、南に輝く翠明湖、遠くにかすむ里山など、日本の故郷の原風景といってよい眺めが楽しめる。

出典：多可町HP、北はりまハイランド推進協議会HP、ハートにくっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区牧野
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	東山古墳群、思出川、杉原川、翠明湖

## 北播磨余暇村公園（四季の彩りが美しい公園と鉱山）



冒険広場



ローラーすべり台



日本庭園



北播磨余暇公園は、兵庫県が行う都市公園事業の一つとして、昭和50年（1975）度から15年計画で整備が進められ、昭和62年（1987）11月にその一部が完成し開園した。その後、県立公園から多可町に委譲された園内には760株のバラを集めた花壇、12,000株のショウブ園のほかに、修景池（340㎡）などがあり四季を通じて美しい空間を演出している。バラ園の見頃は5月下旬から7月下旬、10月中旬から11月下旬。ショウブ園の見頃は6月。この他に、日本庭園や冒険広場があり、小さな子どもからお年寄りまでゆっくりくつろげる。

多可郡の鉱山は、中区北部にそびえる妙見山と加美区南部の豊部・多田付近の山塊に集中していた。県立余暇村公園の建設の着手に伴い、埋蔵文化財の分布調査が行われた結果、余暇村の中央を流れる小さな谷川を馬蹄形に取り囲んで、推定2万トンに及ぶ大量のカラミ堆積が見出された。この牧野集落一帯は古くより鉱山の町として栄えたところで、石垣山遺跡をはじめとして妙見山のあちらこちらに坑口、ズリ、カラミなどが見られる。その他に、生活にかかわる遺跡として、建物跡、墓地、道標、神社跡、井戸などがある。

出典：多可町HP、北はりまハイランド推進協議会HP、ハートにくっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町中区牧野817-41
	百選等実績	ひょうご紅葉四十八景（神戸新聞）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
関連する景観	妙見山、牧野集落、銅精錬所跡展示館	

さいだに おおいしくらのすけ  
**西谷公園と大石内蔵助良雄の石垣（江戸時代に築かれた池堤跡）**



大石良雄の石垣



紅葉の西谷公園



西谷公園とやぐら



西谷公園にある大石内蔵助良雄の石垣は、江戸時代の土木技術を知ることができる池堤跡である。元禄時代に赤穂藩筆頭家老である大石内蔵助良雄の命により藩直轄の灌漑工事が行われ、大石内蔵助良雄がこの石垣を見に来たとの伝承があり「大石の石垣」と呼ばれるようになった。しかし、豪雨により堤が決壊したといわれており、現在では洪水吐の石垣と底樋管のトンネルを残すのみとなっている。

西谷公園に隣接する西谷なごみの森は、かつて薪や炭の生産が行われ、里山林として人々に親しまれてきた森である。アカマツ林やアラカシ林、ツガ林、植林されたスギ・ヒノキの人工林が見られる。この里山の入口には、地元で「みそ岩」と呼ばれる流紋岩の岩場がみられ、ヒトツバやシシランなどの珍しい植物が観察できる。山道の途中からは、眼下に大和地区が望め、また遠方には笠形山が望める。谷筋のせせらぎ沿いには、ヤブツバキの群生地が広がり、背後にせり出す巨岩と相まって独特の景観を呈しており、大和地区の歴史と自然の景観を知ることができる。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区大和
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	西谷なごみの森

## 楊柳寺と八千代昔の森（信仰の対象として守られてきた自然林）



楊柳寺 本堂



楊柳寺 仁王門



ぼっぼこねんじゃ



柳山寺愛宕山神社



楊柳寺（柳山寺）は、白雉年間、法道仙人の開基を伝える古刹で、法道仙人が山麓の柳の大木から光りを放っている菩薩を見つけ、その尊像を柳の木に刻んだという故事があり、山号を柳山と称した。一大霊刹として隆盛を極めたが、天正年間、野間城落城の際に消失した。この時、仏像は運び出され、県指定文化財となっている平安時代の木造十一面観音立像三体・木造兜跋（とばつ）毘沙門天立像・木造毘沙門天立像・木造千手観音立像等六体を伝えている。

楊柳寺の周辺に広がる里山は、コジイ林とスギ、ヒノキ林が中心であるが、特に楊柳寺から観音堂を経て奥の院へ行く道沿いの林には太い木が多い。高さ 20m 以上の大木も見られ、信仰の対象として保全されてきたため、「昔の森」と名付けられた。照葉樹林内には、珍しいラン科の植物も見られる。

柳山寺内の愛宕山神社で行われている火の祈願祭（毎年8月24日または24日に近い土曜日）は「ぼっぼこねんじゃ」の呼び名で親しまれている。大勢の子ども達が松明を持って「ぼっぼこねんじゃ豊年じゃ」と唱え山を下りてくる姿が勇壮。御神火を分けてもらい、仏壇や神様に供えると家内安全、無病息災、豊作などが叶えられるといわれている。

楊柳寺周辺の鎮守の森は、大和地区の昔を伝える樹林景観を残している。

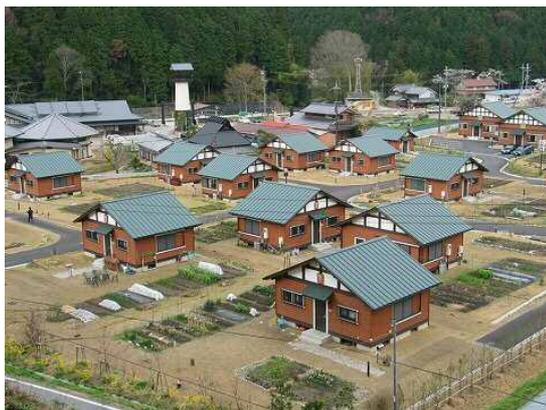
出典：里山の自然を学ぼう～兵庫の里山探訪ガイド～（社）兵庫県森と緑の公社発行）、多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区大和 774
	百選等実績	
	祭礼、行事等	火の祈願祭「ぼっぼこねんじゃ」
	関係人物	法道仙人
	活動団体等	
	関連する景観	

## ブルーメンやまと（田舎暮らしが楽しめる滞在型市民農園）



ブルーメンやまと 滞在施設



ブルーメンやまと



ブルーメンやまとは、平成 16 年（2004）に整備された滞在型の市民農園施設である。1 区画が約 230～420 m<sup>2</sup>に区切られ、木造平屋建ての滞在施設が 30 棟設けられている。ドイツのクラインガルテンをイメージしており、四季折々の野菜・果樹・花木などを栽培しながら、農業体験と農村文化を通じてスローな田舎暮らしが楽しめる。豊かな自然と昔ながらの文化が残るこの地域は、「多自然居住地域」として県から推奨されており、訪れる人々の心に癒しを感じさせてくれる。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input checked="" type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区大和 1483
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
関連する景観	なごみの里山都	

## なごみの里 山都（歴史文化を体験できる交流施設）



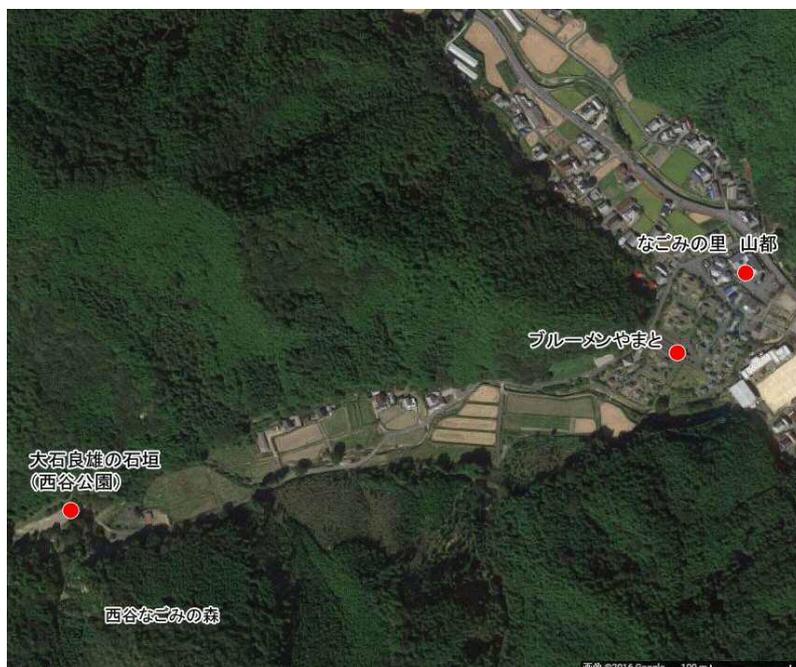
なごみの里 山都



なごみの里 山都 体験交流館



なごみの里 山都 交流活性化センター



なごみの里 山都は、大和地区の活性化マスタープランをもとに建設された複合施設である。かつて赤穂藩の領地であったことから、歴史・文化を意識した武家屋敷風の体験交流館と名峰笠形山の形状をモチーフにした八角形の屋根をもつ交流活性化センターで構成されている。センターは、木工、陶芸、草木染、食の実習室、レストラン、パン工房のほか、山都の湯、多目的ホール、研修室（和室）、展示ロビーなどを備えている。レストランでは、木の香を感じながら、特産品を活かした料理が味わえる。また、隣接して滞在型市民農園であるブルーメンやまどがあり、キャンプ場も併設している。このように、なごみの里 山都は、地域の歴史と自然を活かし、交流を通じて文化を体験できる拠点となっている。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input checked="" type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区大和 1520-1
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
関連する景観	ブルーメンやまど	

## フロイデン八千代（ヨーロッパの山岳地帯のようなクラインガルテン）



フロイデン八千代



森林原野率が86%を超える八千代区はグリーン・ツーリズムに取り組んでおり、ヨーロッパの山岳地帯を思わせる建物が点在して、訪れる人々の目を楽しませてくれる。野間川沿いの「フロイデン八千代」は、平成5年（1993）に全国で初めて整備された滞在型市民農園である。60戸の独立した宿泊棟と、一戸あたり120㎡の契約菜園を組み合わせしており、地元との交流を楽しみながら、気軽に田舎暮らしが満喫できる。

当初は25戸でスタートしたが、平成7年（1995）の2期工事で35戸がオープンし、合計60区画が建設された。ドイツのクラインガルテンをモデルに、集会や談話、喫茶室に利用されている交流館、池やせせらぎ、小公園、野外ステージ、芝生広場、茶畑などが整備されている。

毎年5月には畑一面に花の咲くレンゲ祭り、6月にはホタル観賞会を開催。秋には、この施設の利用者（友の会）と地元俵田集落が、それぞれ丹精込めて育てた野菜を持ち寄って『フロイデン収穫祭』を開催。1月にはご来光登山を行うなど多くのイベントを開催するなど、八千代区のイメージを形成する貴重な景観資源となっている。

出典：ひょうご風景100選（神戸新聞総合出版センター発行）、多可町HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input checked="" type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区俵田 414
	百選等実績	私の好きな兵庫の風景100選（兵庫県）
	祭礼、行事等	レンゲ祭り、ホタル観賞会、フロイデン収穫祭
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## ほたるの宿路（ほたるが乱舞する遊歩道）



ほたるの乱舞



ほたるの宿路



ホタル観賞会の様子



「ほたるの宿路の会」は、環境保全の観点から、河川清掃やほたるの放流に依田集落の住民全員が関わるなど、ほたるの固体数増加に取り組んでいる。平成3年（1991）から開催している「ホタル鑑賞会」等の都市農村交流により、近畿を代表するほたるの里としてイメージアップと農村地域の人口増加を図っている。

毎年6月に行われる「ホタル観賞会」には、都市圏からも大勢の人が訪れ、集落の一大イベントのひとつとなっている。「ほたるの宿路」として川沿いに整備された遊歩道では、間近に観賞できるほたるの乱舞に歓声上がる。

第9回「人間サイズのまちづくり賞」まちづくり活動部門を受賞（兵庫県）している。

出典：兵庫県HP、多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input checked="" type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区依田
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	蛍の宿路の会、依田集落
	関連する景観	フロイデン八千代

の ま さんじょうあと かくりんじょう  
**野間山城跡（「鶴琳城」と呼ばれる戦国時代の山城跡）**



野間川から野間山城跡を望む



野間山城跡から南方を望む



登山口



城跡の堀切



城跡の石垣



武者行列



野間山城は、両尾根の郭郡とそれに挟まれた谷の大手道が構成する構造が最大の特徴で、別名「鶴琳城（かくりんじょう）」と呼ばれている。天正3年（1575）に野間城主・在田源之承宗晴（ありたげんのじょうむねはる）は三木城主・別所重宗と戦い、落城した。城跡からは輸入磁器、備前焼、碁石、アカニシ貝などが採集されており、これらの遺物から戦国時代に機能していたことが知られている。

かつて城門があったと想定される「大手虎口」へ続く登山道「大手道」は、極楽寺から谷に沿って登っている。つづら折れの道が続く急斜面になっており、敵を迎え打つために都合よくできていた。城跡には防御のための堀切や石垣の一部、石積みなどが残っており、戦国時代の面影を感じることができる。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区俵田
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	在田源之承宗晴
	活動団体等	
	関連する景観	光竜寺山城跡

## 竹谷山溪谷（溪流沿いに連なる滝が美しい公園）



竹谷山溪谷



竹谷山溪谷の紅葉



竹谷山溪谷は、珍しい石がずっしり構える溪流に沿って、大小様々の滝が連なる美しい公園であり、多可十景および兵庫観光百選のひとつに数えられている。大岩横の滝の上には不動明王が、その左上には白玉大名が祀られているほか、弘法大使堂が建立されている。また、溪流沿いには、八十八仏群が静かに立ち並び散策路が整備されている。春の桜、初夏の新緑、秋には紅葉が山を染め、四季の豊かな景観を年中楽しむことができる。

出典：多可町HP、北はりまハイランド推進協議会HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区俵田
	百選等実績	多可十景、兵庫観光百選
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 下三原貴船神社（五穀豊穡を願う伝統行事「雨散散」<sup>ゆうばらばら</sup>）



下三原貴船神社



民俗行事 雨散散（ゆうばらばら）



下三原貴船神社は、天文10年（1541）に中野間の花の宮貴船神社から分社したと伝えられている。今の本殿は江戸中期・寛文12年（1672）に淡路の浦村からの出稼ぎ大工たちによって建てられた。

元日には雨乞いの民俗行事である「雨散散（ゆうばらばら）」を伝えている。これは、天明年間（1781～1789）に大干ばつに見舞われたとき、村人一同が氏神の八幡菩薩に雨乞いと豊作を祈願したことが始まりであると伝えられている。村人はフジ蔓で作った輪をつけたシキミの枝に神主から雨（お神酒）を振りかけてもらい、その枝を持ち帰り田畑に刺してその年の五穀豊穡を願う。

伝統の民俗行事とともに、江戸期の大工の技巧を見ることのできる重厚な本殿は、貴重な景観資源である。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区下三原 390
	百選等実績	
	祭礼、行事等	雨散散（ゆうばらばら）
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 中野間貴船神社（伝統の馬駆けと屋台の練り）



中野間貴船神社



屋台の練り



中野間貴船神社の氏子は、中野間・下野間・仕出原にまたがっている。祭事としては、馬駆け（流鏝馬）、屋台の練り込みが行われている。馬駆けについては、その昔、土地の豪族が五穀成就の吉凶を弓矢的にかけて試したという故事にならい、毎年3集落が交替で当元をつとめる習慣になっている。まず、塩ふりが道先を清め「馬乗り」が弓矢的を射て参道を三往復する。昔は参道の両側を参詣人が取り囲み、馬の尻を竿や竹でたたいて狂奔させて盛り上げることが習慣だったようであるが、今も伝統の風習を伝えている。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区中野間 1135
	百選等実績	
	祭礼、行事等	馬駆け（流鏝馬）、屋台の練り込み
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

こうりゅう じさんじょうあと

## 光竜寺山城跡（トンナ山山頂に構える山城跡）



光竜寺山城跡



光竜寺山城跡から野間山城跡を望む



からめて道 登山口



城山まつり武者行列

光竜寺山城跡は、標高214mの通称「トンナ山」の山頂部を主郭とする梯郭式山城である。室町時代中期から戦国時代にかけて築造され、山頂の「本丸」は南北50m、東西24mの規模を持つ。野間山城に比べて居住性が高く南側には建物跡が残っている。

城跡へ登る道は「大手道」と「からめて道」がある。大手道は県道の手橋付近から三の丸にいたる道で、かつて使われていた通り、ほぼ完全に残っている。道幅1.8mのおだやかなつづら折れになっており、途中には中番所などが見られる。城の北側の入り口へ続くのがからめて道で、ガルテン八千代側に登り口があり、尾根に沿って登る。

また、毎年5月には城山まつりが開催されている。当日は、模型を使った当時の野間城下の説明や、甲冑を身にまとい16世紀の野間城下で行われた合戦の演劇が催される。このように、光竜寺山城跡は戦国時代の面影を感じさせる景観資源であり、地域の人々によって広く伝えられている。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区中野間
	百選等実績	
	祭礼、行事等	城山まつり
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	野間山城跡

## 安海寺（貴重な文化財を多く残す寺院）



安海寺



阿弥陀如来坐像



安海寺は、白雉年間（650～654）に法道仙人が開基し、行基菩薩により堂塔が建立されたと伝えられている。絵画や彫刻といった貴重な文化財を多く残しており、県指定重要文化財の木造阿弥陀如来座像が安置されている。また、「木造恵弁座像」となっている恵弁は、日本書紀の敏達天皇 13（584）年の条にある日本最初の渡来僧で、崇仏、排仏の確執のなかで播磨に流され、大屋集落にあった稚児岩に幽閉されたと伝えられている。このように、安海寺は地域の歴史を今に伝える景観資源である。

出典：多可町の版木（多可町文化遺産活性化実行委員会）、多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区中村 220
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	法道仙人、行基菩薩
	活動団体等	
	関連する景観	

# 中村貴船神社（伝統的な祭礼「龍王の舞い」「方固め」「田楽」）



中村貴船神社



りょんりょんの方固め



宵宮の獅子舞



太鼓と拍板での田楽



中村貴船神社は、赤面隆鼻（せきめんりゅうび）の面（天狗面）をつけ、長方形の花笠をかぶり、褐色の舞鶴紋のある衣を着た龍王が八尺あまりの木槍を振り回しながら神社の庭を飛び回る「龍王の舞い（りょんりょん）」で有名な神社である。

祭礼の由来・歴史は不明であるが、伝承として当地は沿地であったので、開拓のために龍王が降臨し、獅子とともに田畑の開墾をしたので、これが龍王や獅子の舞になったという。龍王は、大昔天からやってきて排水路や田畑の区画測量をした猿田彦命（さるたひこのみこと）だと言われている。また、伝説として、太閤秀吉が貴船神社に参拝し、陣太鼓1個を寄進したとも伝えられている。

龍王舞は10月9日、10日に行われ、祭礼は坂本・下村・中村・横屋の4村が交代である。龍王舞・獅子舞・田楽が行われる貴船神社と大歳神社には、演舞のための特別の設営はない。神前の2カ所に砂が円錐形に盛られて、御幣のついた榊が挿してある。

出典：ひょうごの民俗芸能（神戸新聞総合出版センター発行）、多可町HP、ハートにくっと北播磨HP、兵庫県立歴史博物館HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区中村 207
	百選等実績	
	祭礼、行事等	龍王の舞い
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	安海寺

## 坂本の化け椿（人々に親しまれたヤブツバキの巨木）



坂本の化椿



坂本の化け椿は、推定樹齢が約500年とされるヤブツバキの巨木である。幹周り約2m、高さ約10mと県内でも特に大きく、平成6年2月4日に兵庫県郷土記念物に指定された。地域の人々の暮らしを見守ってきたこのヤブツバキは、古くから時季外れに開花することがあるため、「化け椿」の愛称で親しまれている。また、根本に南北朝時代の合戦で討死者を祀ったという五輪塔や石碑もあり、歴史の古さを感じさせる空間となっている。

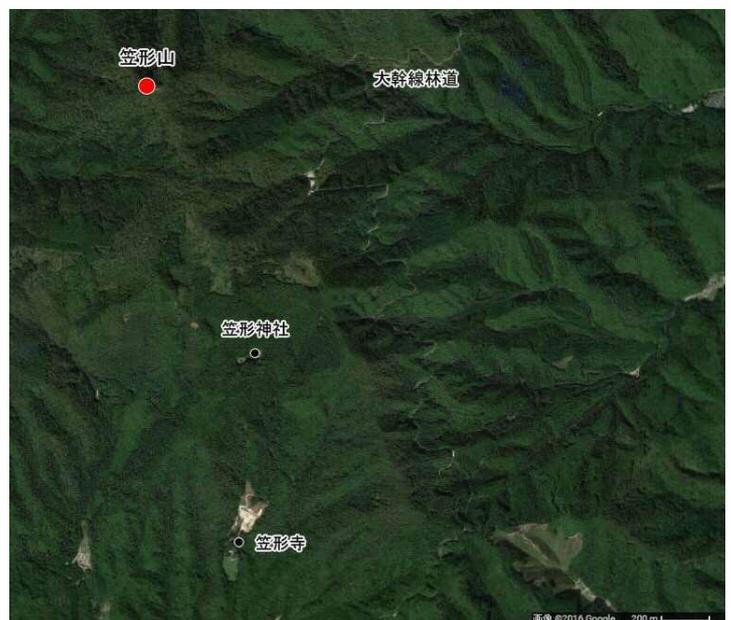
出典：多可町HP、北はりま田園空間博物館HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区坂本
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

## 笠形山（播磨富士と呼ばれる修験の山）



笠形山



笠形山は多可町、市川町、神河町の3町にまたがり、千ヶ峰とともに県立自然公園に指定されている。笠をかぶせたような形からその名がついたと言われ、山裾を長く引いた姿は「播磨富士」の名にふさわしい。多可町側の登山道は溪流沿いで、竜ヶ滝、勝負滝など5つの滝がある。

修験の山として人々の信仰が厚く、山麓に笠形寺と笠形神社を擁している。笠形神社の旧参道の両側はスギやヒノキの植林地が広がり、苔むした小道の傍らには丁石地藏が祀られている。境内には樹齢数百年のスギやヒノキが茂る。

頂上からはるか南東に六甲山、淡路島、明石海峡大橋、瀬戸内海を隔てて四国の山々、北には峰続きに千ヶ峰。雪彦や峰山も眺めることができる絶好の展望所である。

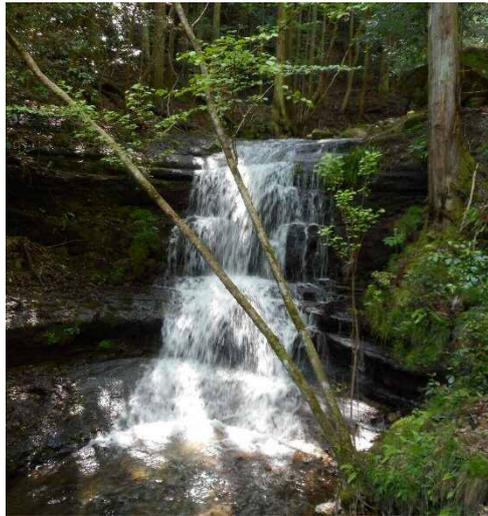
出典：ひょうご風景100選 風と歩く（朝日新聞神戸支局発行）、ふるさと兵庫50+8山（神戸新聞総合出版センター発行）、多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区大屋
	百選等実績	ひょうごの森林浴場50選（兵庫県） 風と歩く「ひょうご風景100選」（朝日新聞） ふるさと兵庫50+8山（神戸新聞）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	竜ヶ滝、勝負滝、笠形寺、笠形神社

## 大幹線林道（四季の自然と変化に富んだ地形が満喫できる山道）



竜ヶ滝



勝負滝



炭焼窯跡



大幹線林道から笠形山を望む



山腹を削り、5mほどの道幅とした平坦な大幹線林道が東西に延びる。大パノラマだけでなく、四季折々の自然や風景が満喫でき、初夏の新緑、秋の紅葉の時期は人気を集める。集落が田園の中に点在するように見え、気象条件が良ければ遠く瀬戸内海まで望める。交差点から下方はスギやヒノキに囲まれた道を辿り、里へ向かって降りる。

二重ヶ滝は、大幹線林道への登り口にあり、耳を澄ませば落水の音が聞こえる。木立の間に見え隠れする溪流の先へ目をやると、30mほどの高さから二段になって落ちる滝が見える。大幹線林道までの道の脇には、かつての炭焼き窯の跡が残っている。周辺には2つの谷筋の出会いにある勝負滝、20m近くも上から開けた岩場に落ちる竜ヶ滝など、スギ、ヒノキに囲まれた山道の変化に富んだ地形を満喫できる。笠形山登山口は、竜ヶ滝の上方に位置し、渓谷と大幹線林道との交差点にあたる。

出典：ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）、多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区大屋
	百選等実績	ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
関連する景観	笠形山、竜ヶ滝、二重ヶ滝、勝負滝	

かのこじんじゃ

## 鹿子神社と大屋公民館（紅葉の美しい歴史文化拠点）



鹿子神社



武者行列奉幣神事



薬師堂 大日堂



景観保全樹木のカヤ



鹿子神社は、長野・中ノ谷・笠ヶ谷の3つの谷に分かれ、これらの谷が合流するところに鎮守として存在している。今の本堂は江戸時代末期の建立と推定される。全体的に豪華で変化に富んだ建築は、優美かつ重厚感をたたえている。祭神は少彦名命（すくなひこなのみこと）。1200年前の平安時代に坂上田村麻呂が大屋から二宮神社（加美区）へ地元民に道案内をさせた故事にならい、鎧兜を身にまとう武者行列が伝えられており、秋祭り宵宮には伝統の武者行列奉幣神事が行われる。

鹿子神社の前にある大屋公民館では、紅葉の季節は地元を挙げて紅葉まつりが行われる。

出典：ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）、北はりま田園空間博物館HP、多可町HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区大屋 626（鹿子神社）
	百選等実績	ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）
	祭礼、行事等	紅葉まつり、武者行列奉幣神事
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	

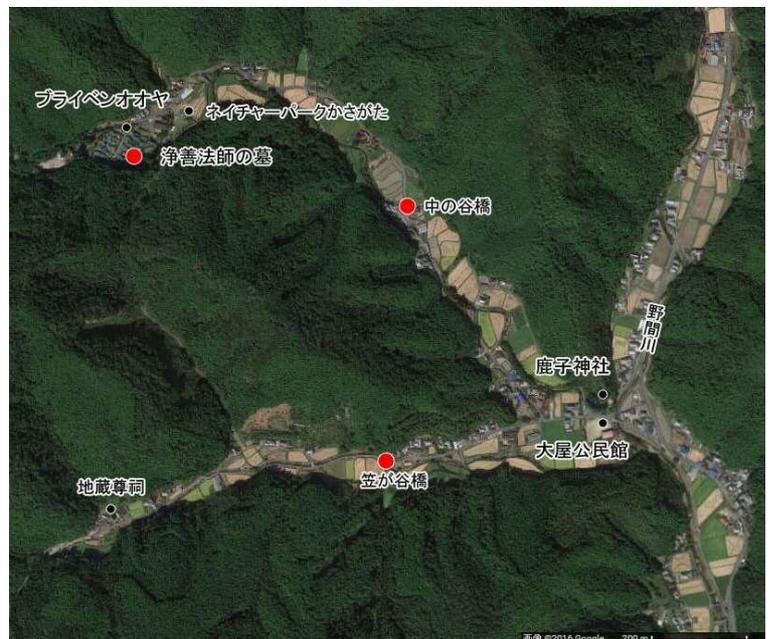
## 浄善法師の墓（難病を治すと信仰を集める祠）



浄善法師の墓



中の谷橋からの山里の風景



救世済民のため身を捧げた浄善法師の墓は、集落の最奥部にあり、今も難病を治すと信仰を集める。

その昔、浄慶・浄善の兄弟が親を伴って但馬竹田城より、越知谷、松井庄をへて大屋の中ノ谷奥地へ移住してきた。兄の浄慶は信仰心が厚く、また耕地、道路、水路などの開拓に尽くした。弟の浄善も温厚仏心厚く、人の道、信仰の道を説き、苦悩する者にはその道を教え、病める者には訓と薬を与えた。今でも、浄善法師のお墓には、病で困っている人のお参りが絶えず、線香炉の中の灰を患部に塗ると治るといわれている。

付近には、大幹線林道交差点から笠が谷集落への中間点に、地蔵尊の祠がある。笠が谷橋からは、春は桜、夏は青葉、秋は紅葉、冬は山の雪景色など山里の趣を味わえる。また、中の谷橋からは昔ながらの山里の風景が楽しめる。

出典：ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）、多可町HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区大屋
	百選等実績	ひょうごランドスケープ100景（兵庫県）
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	大幹線林道、地蔵尊の祠、鹿子神社、プライベートオオヤ

## ブライベンオオヤ（雄大で豊かな自然に囲まれた滞在型市民農園）



ブライベンオオヤ



ネイチャーパークかさがた



ブライベンオオヤは、平成 14 年（2002）に整備された滞在型の市民農園施設である。棚田を活用して 1 区画が約 160～220 m<sup>2</sup>に区切られ、木造の滞在施設が 20 棟設けられている。隣接施設として、兵庫県立笠形山自然公園センター（ネイチャーパークかさがた）があり、ビジターセンター、一般者向けコテージ棟、親水公園など自然体験などの学習プログラムが楽しめる。また、笠形山千ヶ峰県立自然公園内に位置しており、溪谷を吹き抜ける爽やかな風を感じながら、また美しい草花や大小の滝を眺めながらのハイキングや自然観察など、雄大で豊かな自然を体感することができる。

出典：多可町HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input checked="" type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	多可町八千代区大屋 359 他
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	
	活動団体等	
	関連する景観	浄善法師の墓、ネイチャーパークかさがた